

「小さくとも、魅力と活力にあふれる まちづくりを目指して」

り』が行われています。

**明治22年五霞村誕生。
平成8年に五霞町、平成23年
で町制施行15周年を迎えます**

五霞町は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西南端、東京都心より約50km圏内にあり、茨城県では唯一、利根川の右岸に位置しております。

総面積は23.09km²、周囲は、北東部に利根川を隔てて茨城県古河市・境町に接し、東は江戸川を隔てて千葉県野田市、南西は権現堂川（現 権現堂調節池）及び中川を隔てて埼玉県幸手市・久喜市と四方を河川に囲まれた県境の町となっています。

総人口9,410人（平成22年国勢調査）で、茨城県内で一番人口の少ない町になっています。

本町では、農業・工業それぞれがバランスのとれた農工両全の町として、また、住民の安心・安全及び住みやすさにも力を注ぎ、社会資本の整備が必要であるとの認識のもと、上下水道事業が取り組まれ、現在は上水道・下水道の整備率は、ほぼ100%となっています。

五霞町と河川との関わり

周囲を利根川、そして本町南端で利根川から分岐する江戸川、中川及び権現堂川（現 権現堂調節池）に囲ま



茨城県 五霞町 ごかまち

▲利根川・江戸川の分岐点にある中の島公園「大こぶし」



茨城の西の玄関口 道の駅「ごか」



平成17年に「道の駅ごか」が新4号国道沿いにオープンし、県内外から多くの人たちが訪れております。管理運営は、第三セクターである株式会社五霞まちづくり交流センターが町の指定管理者となり行っています。

「道の駅ごか」が目指すのは、地産

れた本町では、川の流れは、豊かなぬぐみをもたらすとともに、度重なる水害をも引き起こしてきました。

川と共に歩んだ歴史を振り返ると、

江戸時代に輸送・交通手段として舟運が大きくな役割を果たすようになります。

銚子を経由して東北地方からの物資までも江戸へと運んでいました。このひとした物資の輸送以外にも、人々の交通手段として重要な役割を果たしていました。利根川には明治時代の中頃まで、東京からの蒸気船が就航しておりました。当時、町内には3つの渡船場があり、町民の暮らしを支えておりました。

一方で、度重なる洪水に悩まされることも多く、江戸時代から大規模な治水工事が何度も行われてきましたが、明治時代以降も、住民は水害に苦しめられてきました。

特に利根川水系の水運の発達は、流域の地域だけでなく、信州や越後、さらには



▶利根川堤防の改修工事

に入る水量調整や、船の運航のために水位調整する「関宿水閘門」、そして、その当時植えられたとされる「ひぶし」などがあり、忘れてはならない史実として、今に伝えられています。

地酒。そして、町内外への情報発信の拠点です。

施設には、五霞町産の朝取り野菜や米はもちうんのこと、果物・花卉・加工品などを取り揃える農産物直売所「わだい万葉」や手作りのまんじゅう、ジエラードが楽しめる軽食コーナーも併設し人気を集めています。また、地元産品が味わえるレストラン「華いぶし」では、茨城県銘柄豚ローズポークを食材とした「トンカツ」や県産そば粉で作る「手打ちそば」、県産の「天然なまのてぐふり」などのほか地域食材を活かした季節食も楽しむことができます。

なかでも、道の駅ごかで開発した「ローズポークまん」（商標登録）がファーストフードの一番の人気商品となっています。商品開発を考えている中で、地元、茨城県銘柄豚ローズポークを使い、「ちよつと立ち寄つて、ちよつと食べる」というドライブイン的感覚で食べてもらおう



▶ローズポークまん

との声をもとに、横浜中華街に視察、コフビーエンスストアを何ヵ所も回り、味や大きさを研究し、完成品ができるまでには半年ほど何度も試作を繰り返して、肉まんを作りあげました。料理長は、「肉や野菜の食感を出すのに苦労しました」と話してくれました。このローズポークまんは県内の観光地やインターネットでの販売も行われ多くの皆さんに食されています。

また、道の駅ごかの開設により、経営規模が小さい農家の生産する少量多品目の農産物の販売が可能となり、地元生産者は、新たな作物に取り組むために各種組合を設立し、安心・安全な農作物を提供できるよう生産技術の向上を目指しエコマーの認定に取り組み、現在では56品目の認定を受けるなど五霞町農業の活性化に大きな役割を果たしています。

五霞ふれあい祭りをひねって 次世代に伝えたいもの

県成田方面への飛躍的なアクセス向上が見込まれています。同時に、周辺地域への都市的土地区画整理事業を図り、田園環境などと調和のとれた新たな産業の拠点を田舎し、商業・工業・流通業務など、多様な企業の誘致に向けた取り組みを鋭意推進しています。

今後、圏央道などの広域幹線道路網が確立される地の利を最大限に生かした「町の魅力と活力の更なる向上」が、益々期待されています。

五霞町では、毎年11月に「五霞ふれあい祭り」というイベントを五霞町、五霞ふれあい祭り運営委員会の主催によるなど五霞町農業の活性化に大きな役割を果たしています。

次に、現在は米作が中心の本町ですが、以前は五霞町が県内一位の麦生産地だったことを次世代に伝えたいとの思いから生まれたプログラム、「麦わら帽子飛ばし」を始めました。

そして、平成23年度は五霞町の特産物ともいえるお米のおいしさを町内外の方々に伝えるとともに、わら一度再確認してもらつたじと考へ、じはんに合う一品料理、「じはんの友ココナースト」を行いました。

より開催しています。運営委員会には下部組織として、実行委員会をつくり、町民・町内の各種団体、行政の協働により、企画・立案から即日運営までを行っています。

協働での企画・立案などを始めて6年、毎年、趣向を凝らしたプログラムを作り上げ、多くの方を楽しませています。

実行委員会では、五霞ふれあい祭りのイメージキャラクターの募集・決定、その翌年度にはキャラクターグッズの作成、平成23年度に着ぐるみ製作にも取り組んでいます。



▶飛べ!!麦わら帽子

広がる五霞町の可能性

現在、本町の中央を縦貫する新4号国道に接続される圏央道（首都圏中央連絡自動車道）（仮称）五霞インターチェンジの整備が進められています。

この圏央道の全線供用によつて、本町より東京、埼玉西部、神奈川、千葉

54 町村の施策事例集Ⅲ

五霞町の重点プロジェクト

互いに絆を深め、『五霞町らしさ』をつくり、そのため、各種施策に取り組んでいます。

近年の五霞町を取り巻く情勢は、少子高齢化の急速な進展、金融不安による景気の悪化に伴う税収の落ち込み、住民ニーズの複雑多様化など、様々な課題に直面しております。

このような状況のもと、本町では第5次五霞町総合計画で掲げる「人がきらめき だれもが安心・安全に暮らせるまち 五霞」の実現を目指して、町民・各種団体・事業所のみなさんがあ

第5次五霞町総合計画では、まちづくりの6つの基本目標（大綱）を定めて施策を行っており、さらに施策を効率的・効果的に展開していくため、横断的に連携しながら実施する事業を重点プロジェクトとして位置づけました。

○重点プロジェクト内容

《自然との共生を基本とした 「暮らしの安全・安心プロジェクト」》

・見守り・助け合い事業

・災害に強いまちづくり事業

・地域公共交通システム構築事業

身近な地域における人々の助け合いや支えあいの関係を育みながら、毎日の暮らしのなかにおける安心・安全を実現し、町民だれもが将来にわたつて五霞町に住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。

《地域ふれあいを活かした 「人・地域育成プロジェクト」》

・人づくり事業

・地域づくり事業

住み続けたいまち、住んでみたいま



おわりに

地域や社会における問題が多様化・複雑化するなかで、暮らしの質を高め、住みよい地域をつくるには、町民・事業所・行政がそれぞれの特徴や能力に応じた役割分担のもとネットワークを形成し、協働でのまちづくりが必要であり、これまで以上に、第5次総合計画や行財政改革を推進した積極的な施策に取り組んでまいります。

地域づくりのあり方が求められています。現代のライフスタイルに応じた地域づくりのあり方が求められています。これからは、それぞれの地域の住民が主体となったまちづくりを進めるとともに地域や時代にあった人づくりや、地域づくりのあり方を構築していく必要があります。

五霞に住んでよかつたとだれもが実感できる五霞町を町民と一緒に、創り上げていきます。なお、今回ご紹介させて頂いた「道の駅ごか・ローズパークまん」につきましては、平成23年12月3日、全国町村会主催で行われる「町イチ・村イチ2011」に出品いたしますので、是非、ご賞味ください。

《地理的条件を活かした
「交流・発信プロジェクト」》

- ・圏央道IC周辺地域整備事業
- ・道の駅を核とした交流拠点形成事業
- ・情報発信事業

本町の地理的条件を活かした既存

産業の振興と圏央道IC周辺地域を活用した新たな産業の拠点づくりをすすめ、町内外との交流を積極的に展開することで、多彩な交流情報を発信し活力あるまちづくりを進めます。

▲道の駅直売所



▲五霞町の風景

豊かな自然と文化にはぐくまれ やさしさと活力に満ちたまちづくり

はじめに

那須の山々を源としてゆつたりと流れる那珂川と八溝山系の豊かな自然の恵みを受け、発展を続けてきた馬頭町と小川町が平成17年10月に合併して「那珂川町」が誕生しました。

栃木県の東部、茨城県境に位置し、東西約23km、南北約19km、中央部には関東の四万十川と称され町名の由来となつた清流那珂川が南流しています。総面積192・84km²のうち耕地が約15%、森林が約64%を占める中山間地域です。

人口は、19,000人あまりで、

主要な産業は、農業、林業、観光業です。農業は、水稻・畜産が主体ですが、近年ではトマト、イチゴ、ナスなどの施

設園芸作物やナシ、ブドウなどの果樹類も定着しています。林業では、豊富な山林を有する八溝山系の木材は、「どちぎ八溝材」として良質ですが、木材需要の低迷により苦しい状況に置かれています。

観光面では、地域資源をネットワークリ化するとともに、地場産業と連携し特産品の推奨を図り、交流人口の増加と地域の活性化を図りたいと考えています。

安全・快適なユニークーサル デザインのまちづくり

街なみ環境整備

広重美術館を核とした「にぎわい

のあるまちづくり」として、街なみ環境に配慮したバリアフリーの道路整備



栃木県 那珂川町 なかがわまち

▲電線類の地中化を実施し、景観に配慮した街並み



▲デマンドタクシーなかちゃん号



から3か年の継続事業でケーブルテレビ施設の高度化を実施しました。
平成21年4月にケーブルテレビ放送施設がリニューアルし、地上デジタル放送再送信を始め、CS有料放送サービス、インターネット接続サービス、IP電話サービスなど新しいサービスの提供が可能となりました。

情報通信基盤の整備は、あくまで地域活性化の手段であることから、基本サービスの充実はもちろん、ケーブルテレビ網の町民の利便性の向上、地域

交通弱者の足を確保するため、自宅と市街地まで利用者の希望に応じて運行する「デマンドタクシーなかちゃん号」の実証運行を平成22年10月から始めました。実証運行により見直しを行い本格運行に移行する予定です。

を推進し、人にやさしいユーバーナルデザインの道路交通環境の整備をしました。また、電線類の地中化も実施し、街並み景観の形成に努めました。

デマンド交通の運行

高齢者等のマイカーを利用できな

情報通信基盤の整備

当町は、高度情報化社会に対応し、

情報通信技術（ICT）を活用した地域の一体性の確保と行政サービスの向上を目的に、平成17年にケーブルテレビ高度化事業計画を策定し、平成18年

▶平成21年にリニューアルしたテレビ放送施設



人を育て未来を拓く まちづくり

文化の振興

歴史的には、関東地方で最も古い古墳が造られるなど特色ある文化が育まれました。国指定史跡の筆頭は、古代那須地方の役所である那須官衙です。

発掘調査の結果、役所や倉とみられる建物跡が確認されました。県内最古とされる駒形大塚古墳、前方後方墳の那須八幡塚古墳などの那須小川古墳群、古代の豪族の墓跡と伝えられる唐の御所、弓の名手那須与一が生まれたとされる那須神田城址などが国指定の文化財となっています。

これらの史跡や資料を保護し、文化財の調査研究啓蒙普及を図るために県立なす風土記の丘資料館は、ふるさとの森公園の一角にあり、県北部地域の文化財保護センターの機能を果たしています。

域福祉や地域産業の活性化、豊かで安心・安心な生活の確保等に利活用していくことが今後の課題となっています。

歌川広重の肉筆浮世絵・版画等を中

▲県立なす風土記の丘資料館



その一つが県内に在住する外国人を中心

に地域民間団体の協力を得て実施するホームステイなどの国際交流事業です。

「ホームステイウイークエンブー
ン那珂川」と名付けたこの事業は、田

植え時期と稻の収穫時期の年2回実施し、平成22年度で15年目を迎えました。

平成22年10月の収穫には、県内在住の外国語指導助手や留学生など29人、ホストファミリーなど総勢120人が

参加して春に植えた稻の刈取りを行い



町内9か所の農産物直売所には採

れたての大根や白菜、キュウリ、トマトなどの新鮮野菜やイチゴ、ナシ、くりなどの果物が並び、安全安心な食材

を供給しています。

とちぎ「食」の回廊で、「八溝そば街道」にあたる当町では、十数軒のそば処があり、八溝山系の豊かな水資源のもと、寒暖差の大きい中山間地域で



▲ニューヨーク州ホースヘッズ村との交流

国際交流事業の推進

豊かな国際感覚と感性を身に付け、国際化時代に対応できる人材の育成と国際交流を生かしたまちづくりを推進しています。

心とする「青木コレクション」の寄贈を契機に建築した馬頭広重美術館は、美術品の研究・保存、芸術鑑賞など新たな芸術文化活動の拠点となっています。

人がにぎわい活力ある
まちづくり

自然资源を活かした地域振興

町の中央を流れる那珂川は、鮎の漁獲量日本一で、釣りのメッカです。鮎屋の軒先や観光やなで食べる鮎の塩焼さは格別です。



▶農産物直売所

町内9か所の農産物直売所には採

れたての大根や白菜、キュウリ、トマトなどの新鮮野菜やイチゴ、ナシ、くりなどの果物が並び、安全安心な食材

を供給しています。

とちぎ「食」の回廊で、「八溝そば街道」にあたる当町では、十数軒のそば処があり、八溝山系の豊かな水資源のもと、寒暖差の大きい中山間地域で



作られた香りの高いせせらぎ粉を使用したごだわりの食味が楽しめます。

また、新たな特産品のブランディングの取り組みを紹介します。一つは、箱鼠やくべつ鼠で捕獲した野生のイノシシの生体を買取り、町営加工施設で商品化したイノシシ肉に「八溝しじまる」のブランド名を付けて売り出しました。

二つ目は、温泉水で温められた野生のイノシシの生体を買取り、町営加工施設で商品化したイノシシ肉に「八溝しじまる」のブランド名を付けて売り出しました。



「八溝しじまる」は、食肉加工店や地元温泉旅館、飲食店に出荷され、八溝しじまる料理として好評を得ています。農作物の被害も減少し、まさに「石」鳥の取り組みです。

一つ目は、温泉水を活用して、高級魚のトロワグを養殖する「那珂川町温泉トロワグ研究会」の取り組みです。廃校となつた小学校で塩分を含んだ温泉を使って実証実験を続けて、「温泉トロワグ」の養殖に成功し、平成22年夏に初出荷しました。今後、事業拡大によりブランディングを図っています

自然の恵み

八溝県立自然公園内に位置する町は、緑と清流に恵まれた自然資源、古代から連なる歴史文化資源、温泉、美術館、ゴルフ場、キャンプ施設などのスポーツ・レジャー資源など魅力的な観光資源を有しています。

那珂川沿いの高台にある馬頭温泉郷は、1860（万延元）年に源泉が発見され、今も豊富なお湯が湧き出ています。アルカリ性単純泉で、肌がなめらかになることから「美人の湯」と呼ばれており、「町営温泉ゆりがねの

湯」を始め、十数軒の温泉宿から眺める夕日に染まる那珂川は絶景です。

また、対岸の「まほろばの湯」は、ナトリウム硫酸塩・塩化物泉で電気風呂、気泡浴、遠赤外線強化仕様ファインランドサウナなど様々な入浴が楽しめます。

美術館

当町には、三つの美術館があります。

まず、「那珂川町馬頭広重美術館」は、江戸時代の浮世絵師歌川広重の貴重な肉筆画や保永堂版東海道五拾三次之内、小林清親を中心とした明治版画、日本洋画界創始期の画家川村清雄の油絵、思想家徳富蘇峰の書などを所有しています。「江都八景」や「富士十二景」など、広重の肉筆画の名品を鑑賞することができます。また、建築家隈研吾氏の設計による建物は、「広重の芸術と伝統を表現する伝統的で落ち着きのある外観」を「ソンセプト」とし、自然豊かな町の景観に溶け込むよう、ゆったりとした平屋建てに切妻の大屋根を採用しています。

美術館全体は、地元産の八溝杉による格子（ルーバー）に包まれ、時間



▲安藤広重「東海道五拾三次 庄野」



►那珂川町馬頭広重美術館

とともに移りゆく光によつておもわせ
な表情を見せてくれます。

「いわむらかずお絵本の丘美術館」
は、日本のみならず、ヨーロッパやア
メリカ、アジアなど13か国の国々で翻
訳出版されている世界的な絵本作家い
わむらかずお氏の原画や絵本などが展
示された美術館です。



「むらひとつの美術館」は、廃校に
なった小学校の校舎を活用して開設さ
れました。さまざまな障がいを抱えた
人たちの芸術活動をサポートするとと
もに、誰もが表現活動の楽しさを感じ
ることができます。あるいは人との人を結び
つけ、誰もが人の可能性、自分の可能
性を見出していく、そんな新しい出会い
の場を提供している美術館です。

江戸時代から続く伝統の技

「小砂焼」は、日本最古の砂金の産
地と伝えられる当町の小砂地区から焼
物に適した陶土が発見されたのをきっ
かけに、水戸藩主徳川斉昭が御用窯と
して庇護し、日用の陶器が焼かれるよ
うになりました。

現在は、黄金の光を放つ砂金を思
わせる金結晶の陶器を始め、青磁、白
磁などが軒の窓元で製作されていま
す。

美術館に併設されたえほんの丘（子
どもの森）は、総面積10㌶の土地が、

描かれた絵本同様に雑木林や草原、田
んぼや畠などを配し、訪れた子供たち
が自然を学び、豊かな心を育む情操教
育の場となっています。

「むらひとつの美術館」は、廃校に
なった小学校の校舎を活用して開設さ
れました。さまざまな障がいを抱えた
人たちの芸術活動をサポートするとと
もに、誰もが表現活動の楽しさを感じ
ることができます。あるいは人との人を結び
つけ、誰もが人の可能性、自分の可能
性を見出していく、そんな新しい出会い
の場を提供している美術館です。

▲小砂焼



地として20年間無償貸与するもので、
1区画150坪程度で10区画整備しま
した。田舎暮らしを考へての方のお
越しをお待ちしております。

那珂川町長 大金 伊一
(平成23年3月14日付第2752号)

1区画150坪程度で10区画整備しま
した。田舎暮らしを考へての方のお
越しをお待ちしております。

那珂川町長 大金 伊一



▶「農ある田舎暮らし高手の里」
定住人口を増やすため、家庭菜園
もできる分譲宅地「農ある田舎暮らし
高手の里」を造成しました。

町外から定住希望する人に住宅用

▶「いわむらかずお絵本の丘美術館」

U-イーターン対策事業で、 自立する村づくりを目指す

はじめに

上野村は、群馬県の最西南端に位置し、西は長野県、南は埼玉県に接しています。その境界は秩父、荒船、御荷鉾連山等のいずれも急峻な1,000～1,500mを超える山々が連なり、その支脈が複雑に入りくんで、平坦地は極めて少ない典型的な山村です。山々は、原生林を始めとして深い森林に覆われ、森林面積は村の総面積181・86mの96%を占めていますが、広葉樹が多く四季のうつろいは鮮やかで、たいへん美しい景色を形成しています。村の中央には、西から東に向かって村に源を発する神流川が貫流して渓谷をつくり、その本支流の河岸段丘を利用して、標高400～800mの位置に小集落が散在しており、人口



▲人口1,379人の上野村。13%強に当たる187人がUイーターン者です。
上野村は、定住の方々を積極的に支援しています。

群馬県 上野村 うえのむら



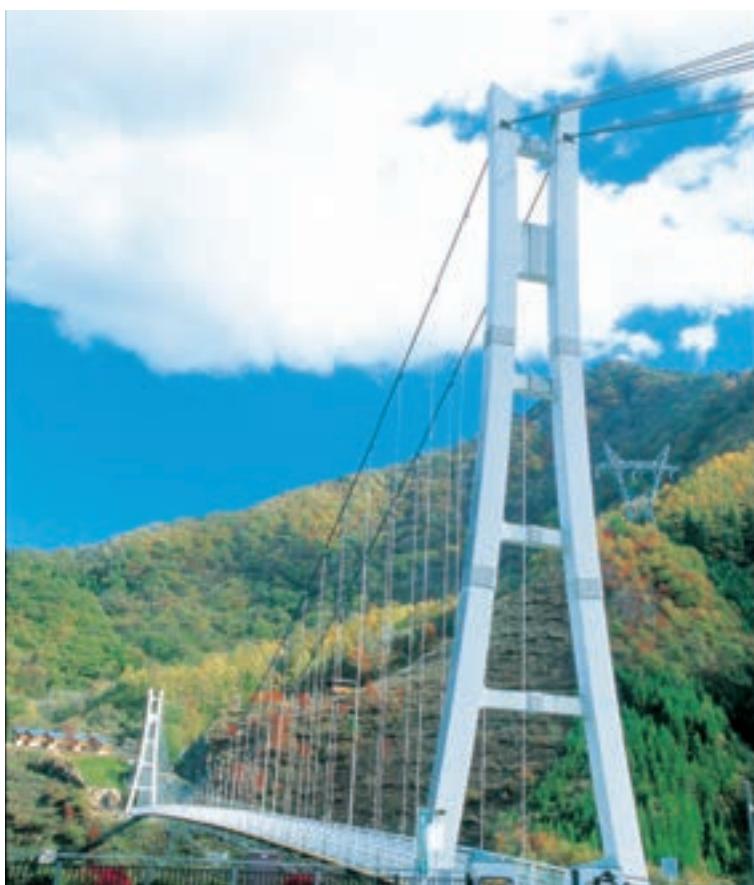
は1,379人（平成22年6月1日現在）と群馬県で最も人口が少ない自治体です。

本村は、東京から100km圏内に位置しているのですが、上信越自動車道や平成16年3月の湯の沢トンネル開通に伴い、都心から2～3時間程度のアクセスで雄大な山岳美や親しみやすい溪流など「大自然の癒しの力」にあふれる環境を満喫できるようになりました。



また、観光資源についても、群馬県指定天然記念物であり関東一の規模を誇る鍾乳洞「不二洞」を中心とした川和自然公園、天空回廊（まほーばの森・上野スカイブリッジ）、国指定重要文化財の「旧黒澤家住宅」、平成17年12月に1号発電機が運転を開始した東京電力の神流川発電所、また、平成の名水百選に選定されたとともに5年

◆川和自然公園とまほーばの森を結ぶ、高さ90m、長さ225mの上野スカイブリッジ。吊り橋を渡れば空中散歩気分。4月から11月は、1日3回シャボン玉の舞う風景が見られます！



連続で関東一きれいな川に選出された神流川もあり、入り込み客数は増加しています。



リーチャン対策事業におけるこれまでの取り組み

観光客の増加とともに、本村が総力をあげて取り組んでいるのが定住対

策です。過疎から脱却するためには、何より若い世代を中心とした人口の増加が必要であり、そのことが高齢化問題及び少子化問題の解決にも繋がっていきます。

そこで、本村は、平成元年度よりリーチャン者を積極的に受け入れており、現在は人口の13%強の187人（平成22年5月現在）が定住し生活をして

◆神流川（かんながわ）は、イワナやヤマメ、鮎などの多くの渓流魚を育み、大勢の釣り人に愛されています。

じます。総人口に占めるJ-ETERNERSの割合は全国的にみても大変高く、各種の定住化対策事業の成果によるものと考えられます。具体的な対策事業としては、就業の場の確保（木工事業の振興、特産品開発・製造販売事業等の産業振興及び観光事業の振興）、村営住宅の整備及び後継者定住促進条例による生活支援をこれまで強力に推進してきました。



就業の場の確保

本村には企業が少ないため村を中心となり、就業の場の創出に努めています。J-ETERNERSの主な従事先は、木工業、農林業、特産品製造販売業（上野村きのこセンター・十石みそ工場・森の菓子工房等）及び観光事業（第三セクター（株）上野振興公社等）となっています。木工業については、昭和51か

52年度にかけて建設した現在の銘木

成18年度農林水産省総合食料局長賞を受賞した上野村農協の十石みそ工場、村内の木材を使用したオガの菌床で椎茸や舞茸を生産する村直営のきのこ工場及び村の素材を活用した菓子の開発を手がけている村直営の森の菓子工房がJ-ETERNERSの主な就業の場となっています。

また、特産品製造販売業では、平

成18年度農林水産省総合食料局長賞を受賞した上野村農協の十石みそ工場、村内の木材を使用したオガの菌床で椎茸や舞茸を生産する村直営のきのこ工場及び村の素材を活用した菓子の開発を手がけている村直営の森の菓子工房がJ-ETERNERSの主な就業の場となっています。



工芸センターを中心に村の森林資源を利用した挽物製品（茶釜、菓子器、茶托等）の加工施設や展示販売施設を整備しています。現在、J-ETERNERSを含めて十数名の木の工人達が木工家協会を設立する等、村の貴重な地場産業として定着しています。森林整備事業についても木工業同様J-ETERNERSの就業の場として現在も就職率の高い職種です。

生活支援

J-ETERNERSへの生活支援については、村の後継者定住促進条例に基づき、生活補給金、結婚祝金、住宅資金利子補給を行っています。当村に移住してきた場合、移住前に比べ所得が減少する場合も多く、安定した所得が得られるまでの支援として最長36ヶ月を限度に生活補給金を月5万円支給しています。その他、誕生日祝金、養育手当（3人目から月額1万円、最長15年間支給）、子供の福祉医療（中学校卒業までの医療費無料）及び低額での保育の提供（月額2,000円）などを実施しており、J-ETERNERS者が村に定住しやすい環境の整備に努めています。

村営住宅の整備

J-ETERNERSの主な住居である村営住宅については、様々な制約のある公営住宅の補助金を使用せず、J-ETERNERS者が少ない負担で入居できるよう、村単独で整備しています。現在までに9世帯分の整備を行いましたが、依然供給不足の状況です。

J-ETERNER対策事業の今後の取り組み

林業における新たな可能性の模索による雇用の拡大

本村は、交通条件や地形的な条件から企業誘致による雇用の拡大は難しい状況です。今後も既存の就業の場を充実させ雇用の拡大に繋げると同時に、

▶上野村の木工品
食器・おもちゃから世界で一点の特注家具まで、職人たちが心をこめてつくります。

▶上野村の特産品
自慢の肉厚のきのこと十石みそ 加工品
もたくさんあります。

林業における新しい可能性も模索していくたとえます。森林面積が村の総面積の96%を占める本村では、一層のリーターン対策を推進していくために林業分野における雇用拡大は強く求められる」とです。

林業については、現在、搬出間伐（伐採から林内搬出まで）の採算がどれるよう、村独自の財政的な支援を林業事務から求められています。



▶ 現在、伐採から林内搬出まで、林業で採算が取れるよう、村独自の財政支援を行っています。今後は、林業における新たな可能性も模索します。

業者に対して行っていますが、今後、伐採の際に生じる「林地残材」について森に放置して森林荒廃の一要因となるのではなく、有効的に活用する仕組みづくりを行います。具体的には、村にペレット工場を建設し、「林地残材」は当該工場でペレット化して村内の施設や住民に供給し、将来的には村外にも販売したことになります。村による財政的支援等を行い、ペレットの原料調達、製造及び流通の各段階における雇用の創出をねらいます。林業全体として、良材は市場に搬出、「林地残材」はペレット化するように、村の森林資源を余すことなく活用する「村内循環型経済社会」を構築することにより、雇用の大きな受け皿にしてきました

ことと、良材は市場に搬出、「林地残材」はペレット化するように、村の森林資源を余すことなく活用する「村内循環型経済社会」を構築することにより、雇用の大きな受け皿にしてきました

村営住宅の更なる充実

現在、村営住宅は満室状態が続いている。定住希望者への安定的な住宅供給のため、今後も積極的に村営住宅の整備を進めています。整備にあたっては、1ヶ所に住宅を集中させるのではなく、各集落の実情等を勘案しつつ、村の各集落に住宅を分散配置して限界集落の解消にも結びつけていきます。



▶ 定住を促進し、活力ある村づくりをはかるために、積極的に村営住宅の整備を進めています。

群馬県は、現在35市町村で構成されています。本村は群馬県で最も人口が少ない自治体ですが、リーターン対策を通じて村民の年齢構成は変化を見せ（リーターン者はほとんどが40歳以下）、子育て世代、高齢化及び少子化の様々な交流により、集落全体の活性化をはかっています。実際、地元の人からも「赤ちゃんの声が聞こえる集落になりよかったです」というような喜びの声も聞こえてきています。

また、住宅を新設するだけでなく、使用していない既存古民家を改修し住宅として活用するなど、定住希望者の様々なニーズを満たす取り組みも行っていきます。

おわりに

群馬県は、現在35市町村で構成されています。本村は群馬県で最も人口が少ない自治体ですが、リーターン対策を通じて村民の年齢構成は変化を見せ（リーターン者はほとんどが40歳以下）、子育て世代、高齢化及び少子化の様々な交流により、集落全体の活性化をはかっています。実際、地元の人からも「赤ちゃんの声が聞こえる集落になりよかったです」というような喜びの声も聞こえてきています。

また、住宅を新設するだけでなく、使用していない既存古民家を改修し住宅として活用するなど、定住希望者の様々なニーズを満たす取り組みも行っていきます。

上野村長 神田強平

（平成22年7月19日付第27-27号）

PRの充実

全国的なリーターンイベントである

「人と自然 やすらぎと活力のある 村づくり」

—さわやかな高原の村『つまごい』の明るい未来をめざして—

はじめに

嬬恋村は、群馬県の西北端に位置し、東は長野原町、草津町、西北は長野県に村境を接しています。面積は337・51km²で、うち7割近くを山林で占めています。村の東部を除く外周には、浅間山、四阿山、白根山などの2000m級の山々が連なり、北西部一帯は、上信越高原国立公園に指定されています。居住地は、標高700mから1800mの間に位置し、集落の大部分は村の中央部を流れる吾妻川の流域に散在し、浅間山の影響を受けて火山灰土の腐食土壤が多い地質で、高原野菜の産地を形成しています。

明治22年の市町村制の施行に伴い、現在の嬬恋村が誕生。村名は、日本武尊と愛妻弟橘媛との間の口マンに満ちた伝説に由来しています。

気候は、高原地域特有の冷涼な気

候であり、夏の降水量が多く、昼夜間の温度差が大きく、平均気温は7・5℃で、豪雪地帯に指定されているものの冬季の降雪量はそれほど多くなく、雪期間は12月下旬から4月上旬までとなっています。

過疎地域指定に

本村の人口動態は、昭和35年の15、214人を最多に昭和55年には10、737人と著しく減少しています。これは硫黄鉱山の閉山により、若年層が村外へ流出したことによる結果となっています。その時に過疎地域の指定となりました。平成22年度の国勢調査では、10、178人と減少傾向です。

一方日本列島改造などによる急激な経済成長で、浅間高原一帯に別荘分譲が盛んになり、過疎地域振興特別措置法（昭和55年）の指定からはずれる



群馬県 嬬恋村 つまごいむら

▲「愛してる！」キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ（通称キャベチュー）

ことになりました。平成になり、ふるさと創生事業、大規模リゾート地域の指定など開発ブームが進む中、地価高騰や環境問題がクローズアップされ、急激なバブル崩壊とともに、公共事業の減少や地域経済が徐々に衰退傾向になりました。過疎地域自立促進特別措置法(平成22年)で再指定となりました。

本村の財政運営

本村は、国営農地開発事業負担金やスキー場事業の債務をはじめ、バブル期以降に多くの建設事業に取り組ん

できた結果、平成20年度決算において、「実質公債費比率」が基準を超えたため「早期健全化団体」となりました。そのため平成18年9月に策定した「嬬恋村財政健全化計画」、その後平成20年9月に策定した「第1次嬬恋村財政健全化計画」に基づいて歳入確保・歳出削減を進め、平成21年度決算では、実質公債費比率を早期健全化基準の25%未満にあることが出来ました。

さらに、起債の許可を要しないとされる18%未満も視野に入れた不斷の取組みを進め、住民の安心・安全の確保と地域経済の活性化を図りつつ、信頼される財政運営に努めています。

村の主な計画

平成23年度には、村の豊かさを築いてきた「人」と「自然」を村づくりの基本視点におき、「やすらぎ」の提供と「活力」を生み出すために継続性のある明るい未来を目指し「人と自然やありきと活力のある 村づくり」へむやかな高原の村「つまづく」の明るい未来をめざしてスローガンに「第五次嬬恋村総合計画」を策定しました。次の6つの領域で具体的な施策に取り組みます。



▶粉雪舞うバラギスキーフィールド

(1) 自然と人々が共生する村づくり
(2) 健やかで人にやさしい村づくり
(3) 生きる力をはぐくみふるさとを愛するひとづくり

(4) 安定と元気のある産業を生み出す村づくり
(5) やすらぎと潤いのある村づくり
(6) 未来へ向けた行財政をめざして過疎地域からの脱却を図り、若者の定住促進に向けた就業の場の確保や快適な生活環境の整備を目標として

地域の魅力をより高め、自然環境や地域資源を活用するような対策として「嬬恋村過疎地域自立促進計画」を策定しました。重点項目は、①保健・医療・福祉サービスの充実②嬬恋村を担う人材の育成③自然豊かで、やすらぎのあるむら④災害に強く、安心して生きてできるむら⑤広域的な視点に立った基礎の整備⑥少子・高齢化の対策⑦基幹産業を基軸とした新たな産業構造の確立⑧「ミユニティ」を重視した協働の地域づくり⑨費用対効果の高い財政運営⑩地球温暖化対策への取り組みです。

キャベツの大産地

特産のキャベツは、昭和初期から始まり、昭和30年～40年には「嬬恋村

の高原キャベツ」としてブランド商品とされるようになりました。昭和41年から野菜指定産地となり、大規模な農地造成が始まり、一大農園地が形成され、出荷量とも、夏秋キャベツでは日本一の産地となりました。キャベツがよく育つ気温は15℃～20℃で、他の地域では、6月からの月の気温が高いため、キャベツの生産は不向きで、この期間にキャベツの生産が出来るのは、夏でも涼しい北海道



▲夏秋キャベツは日本一

▶夏のキャベツ畑と浅間山

や、標高の高い限られた地域だけです。嬬恋村では、昼間は暑くても、夜間には気温が下がり涼しくなるため、この気温差と高原特有の朝露のおかげで、おこしにキャベツを生産する」とができます。

愛妻の村づくり

平成16年11月に嬬恋村で週末農業を楽しむグループにより、村名の由来と発案した方ご自身の経験から「妻といつもとも身近な赤の他人を大切にする人が増えると、世界はもう少し豊かで平和になるかもしない。」とい

「」平成18年に始めた。妻を前に「ねつかとの」や「愛して」などの言葉が田舎者らしいものからはじめて、ひとまわりがひとまわり手な愛情表現を克服できるのではなくかと考へました。

平成19年に「愛妻家の聖地」としての村づくりを進める上で、田代湖や浅間山の雄大な景色の「愛妻の丘」を造成。この「愛妻の丘」では、住民の手により芝桜等の植栽や周辺の環境整備等が実施され良好な景観が保たれて います。



▲雄大な景観「愛妻の丘」

くりの活動が評価され、総務大臣表彰
団体表彰を受賞しました。愛妻の丘には、
いつ誰が来ても愛を叫ぶことができる
ため「妻に愛を叫ぶ専用叫び台」があ
ります。普段なかなか口にできぬこと
葉を叫んでみてはいかがでしょうか。

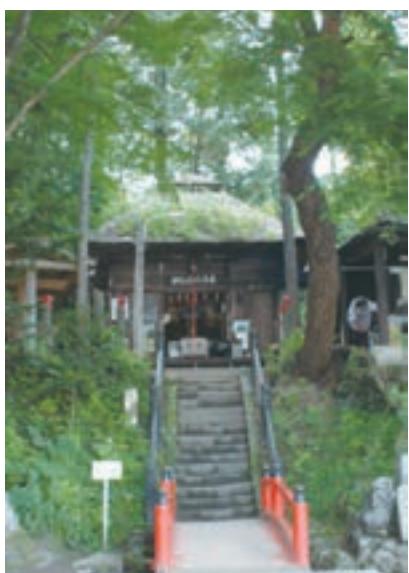
手により芝桜等の植栽や周辺の環境整備等が実施され良好な景観が保たれています。

う理想のもと、愛妻家というライフスタイルを世界に広めていくこと「日本愛妻家協会」が設立されました。

(通称キヤベチュー)は、村名の由来キヤヘツ畠の中心で妻に愛を叫ぶ

イベンツもつて、1年に一度くらいは妻への感謝の言葉、愛の言葉を大声で叫んでみてやることではなかろう。

一四四



浅間山の噴火と防災

は備えるため防災事業の実施、火山監視映像の配信や地震計設置、浅間山体内部の観測などの体制も充実しています。

平成21年10月には「火山との共生、観光の振興、国際性のある地域振興」をテーマに全国の火山を有する自治体が参加する火山砂防フォーラムが本村を中心を開催され、火山砂防意識の啓発に取り組んでいます。

人、集落の西側の高台にあつた鎌原觀音堂にたどり着いた者など93人が奇跡的に助かりました。

本村は、2000メートルを超える浅間山・四阿山・本白根山・湯ノ丸山の雄大な景観に抱かれ、標高1800メートルにある乳白色の硫黄泉の万座温泉郷、古くから湯治場として1500メートルの高原にある鹿沢温泉郷など温泉も豊富です。



▶15万株の「しゃくなげ園」



観光協会・商工会では、キャベツマラソンの開催や千代田区における雪だるまのイベント、各観光エリアにおいても様々な取り組みで、誘客や宣伝活動に努め



◀万座のコマクサ

粉雪舞う5つのスキー場、本格的なリゾートコースの3つのゴルフ場、雄大な景観と高山植物が豊富なバラギ高原エリア、浅間高原エリア、鹿沢・湯の丸・高峰エリア、万座・白根エリアに年間200万人を超える観光客が訪れています。各高原では、四季折々の石楠花・レンゲツツジ・コマクサ・ヤナギラン・リンドウなど高山植物が咲き乱れています。

ト、歴史的遺跡等豊富で、訪れる方々に大変喜ばれています。しかしながら、観光客数は、平成5年度の3,338,000人をピークに、平成21年度は2,161、800人と64・8%まで減少しています。

観光協会・商工会では、キャベツマラソンの開催や千代田区における雪だるまのイベント、各観光エリアにおいても様々な取り組みで、誘客や宣伝活動に努め

おわりに

皆様には、村民憲章にあるように
“なげかけることばにほほえみをさ
しだす人の手にぬくもりを”嬬恋村

の素材や人間力を感じていただきた
こと願つてゐる。私は就任以来、
Think Global Act Local!!(地球的
規模で考えて地域のために活動する)
を信条に日々活動してゐる。一人
でも多くの方々に『嬬恋村』に住んで取
かつた。『嬬恋村に住んでみた』。
と題つて『ただひめゆり』村づくりを
して貰つたことを御報告する。皆様
のお越しをお待ちしております。

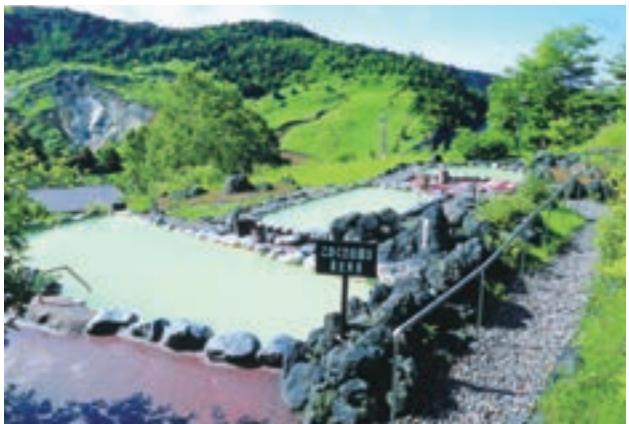


▲川床が安山岩でできた石畳「石桶」

本村には、幼稚園3園、保育所11園子どもふれあい館1箇所の施設が配置され、義務教育施設は、小学校5校、中学校2校です。過疎化、少子化による園児の減少、就労形態の変化等による保護者のニーズに応えるべく、幼稚園では預かり保育の実施、保育園では保育時間の延長や土曜日の保育、幼稚

園と保育所との連携等を進めています。平成16年度「嬬恋村教育施設再編計画」を策定し、平成21年度再度検討を重ね、平成27年までに小学校2校、中学校1校、幼稚園2園の再編成に向けて取り組んでいます。

取り上げられ知名度向上に効果を上げています。今後は真田街道など広域観光連携やネット関連の情報発信ツールの導入、施設の整備等により観光振興を図ります。



▲夏の万座温泉露天風呂

景観に配慮した魅力ある町づくり

◀草津白根山

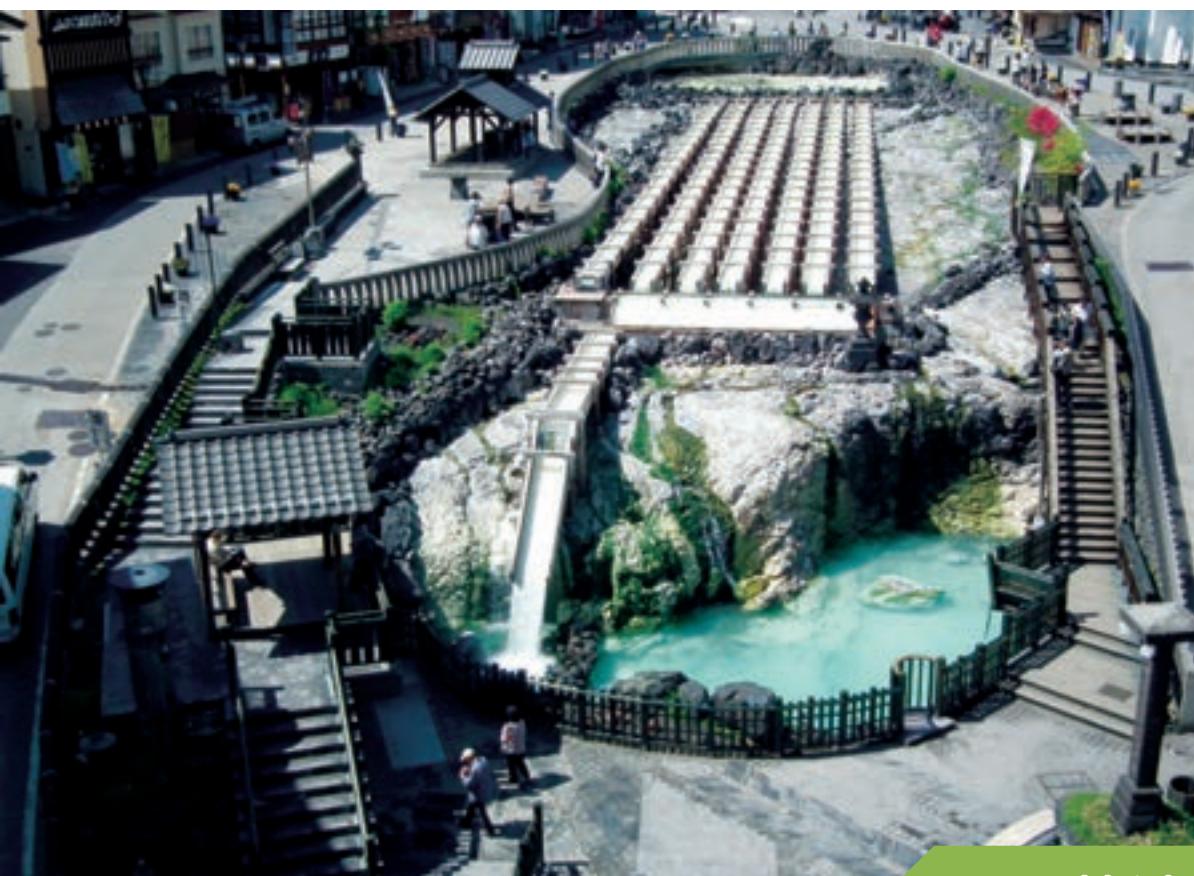
豊かな自然、そして温泉

草津町は群馬県の北西部に位置し、東西9km・南北8km、総面積は49.7km²、人口7,100人の小さな町です。

北と西には三国山脈の2,000m級の山々が聳え、東と南には海拔1,200mの高原が開けています。

特筆すべきは、土地の約70%は国有林であるとともに、草津白根山を中心としたその周囲は、上信越高原国立公園に指定され、あるがままの豊かな自然がしっかりと守られています。日本有数の活火山である草津白根山をとりまく山岳景観は、景勝地としては見ごたえ十分、また、ここは高山植物の宝庫でもあり、春のシャクナゲ、夏のコマクサ、秋にはナナカマドの紅葉が季節を彩り、ハイカーや観光客の目を楽しませてくれます。

そして最も重要なことですが、草津町が一番大切にしている「温泉」となる地下水が、その豊かな自然によって、しっかりと蓄えられていることです。マグマ溜まりの熱で温められた地下は、毎分32,300ℓの温泉となつて町内の各所に湧きだし、自然湧



群馬県 草津町 くさつまち

▲毎分4,000リットルもの熱湯が湧き出ている迫力の湯畠(ユバタケ)広場

◀シャクナゲ



◀コマクサ



◀豊富な温泉



よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれるほどの賑わいを呈したようです。

明治時代に入り、ドイツ人医師のベルツ博士（明治時代のお雇い外国人として来日、29年間東京大学で教鞭をとり、日本の医学の近代化に尽力した。大正天皇の侍医をつとめていた）が草津を訪れ、「草津には、無比の温泉以外に日本で最上の山の空気と、全く理想的な飲料水がある。こんな土地が、もしヨーロッパにあつたとしたら、カ

ルルスバード（チエコ共和国のカルロビ・ヴァリ市で、ヨーロッパを代表する温泉リゾート地）よりもにぎわう」と絶賛し、温泉保養地として使える土地が少なく、農業も成

り立たなかつたことなど、観光以外では生計を立てることができない土地だったのです。

つまり、草津町は第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

つまり、草津町=草津温泉であり、温泉地として、観光業で町が成り立つ

マンションが林立するようになります。道路や上下水道などの整備が行われ、外へ外へと開発が広がつていきました。

特に「草津スキー場（現草津国際スキー場）」は、昭和23年に日本のスキー場としては最初期にスキー・リフトを建設し、その後全国に広がつた一大スキーブームの牽引役となりました。また、昔からあつた地域の「共同湯」とは趣を異にした、日帰り温泉入浴施設「大滝乃湯」が建設され、草津町の経済発展の一翼を担いました。

草津スキー場も大滝乃湯も、週末ともなれば観光客がごつた返す状態で、日本全国の観光地同様（観光地だけではありますんが）、草津町もバブルに

沸き立ちました。

そして訪れたバブル経済の崩壊。俗に言う「失われた10年、あるいは20年」、日本経済が低迷、混沌する時代となりましたが、草津町も例にもれず、長い間、温泉観光地としての在り方、方向性を見いだすことができず、もがき苦しんできました。

戦後の復興、そして高度経済成長とバブル経済期には、日本中で開発ラッシュが起り、草津温泉も他の温泉地と同様、経済優先の地域づくり、町づくりが行われました。町の中心街にあった老舗旅館などは次々と郊外に大型ホテルを建設し、やがてリゾート

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

つまり、草津町=草津温泉であり、温泉地として、観光業で町が成り立つ

温泉観光地の在り方にについて

私は、観光地の使命とは、そこを訪

れる、外へ外へと開発が広がつていきました。

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。

草津町の特性、産業構造

草津町の産業別就業者数を見てみると、直近の国勢調査によれば、第一

次産業はわずか0・9%、第二次産業は7・8%となっています。つまり町のほとんどは第三次産業に従事し、しかもサービス業（全体の63・3%）に従事しています。

歴史を振り返つて・・・

歴史を振り返つてみると、お

よそ室町時代には草津温泉の名が文献に出ており、戦国時代には豊臣秀

次や前田利家など多くの武将が草津温泉を訪れています。江戸時代には全国

にその名が広まつてじたようで、小林一茶や十返舎一九などの文人も多く訪

れ、「草津千軒江戸構え」とうたわれ

るほどの賑わいを呈したようです。



なぜ、踏みとじあることが できたのか？

それは、豊かな自然とそこで育まれた圧倒的な「温泉力」、長い歴史に培われた個性豊かな温泉文化（草津温泉には「湯もみ」や「時間湯」等、草津温泉独自の文化があります）、時間をかけて形成された情緒ある街など…。じわば日常生活で経験できない生活空間、あるじは「癒しの空間」が、草津町には、残っていたからではないでしょうか。

景観ルールづくりと 湯畠広場の再整備

お客様に日常生活では経験でもないことを経験していただくこと、そして感動を与えることだと思っております。高度経済成長の時代、大量生産と大量消費の時代を経て、時流に迎合して開発を進めた多くの観光地がその魅力を失い、疲弊して苦しいであります。あるがままの自然を守り、地道に地域の特性を活かした町づくりを行ってきました。観光地が、いまでは多くの人達から支持される観光地となっています。

草津温泉のシンボルといえば「湯畠」です。ここでは湧き出たばかりの温泉が湯煙をあげ、7本の木桶に通されたのち、湯滝となって流れ落ちています。

他に類をみないこの景観は、初めて草津温泉を訪れた人々におおきな感動を与えております。全国にあまたある

に呑まれそうになつた時代があり、ギリギリのところで踏みとじあつてきましたところがします。

温泉地でも、市街地の中心でこのものが建ち並び、多くの観光客で賑わっています。

しかし街のみ景観の観点からみると大変残念なことがあります。

一つには、温泉情緒あるその土地固有の日本建築の建物が少なくなっています。

これは、わが国が高度経済成長の過程において、経済優先、効率主義をよじじしてきた結果ではないことですね。これはわが国が高度経済成長の過程において、経済優先、効率主義をよじじしてきた結果ではないかと思います。



▲湯畠・新湯桶

◆草津温泉の湯畠前に立つ「熱の湯」「湯もみと踊り」は、ショーとして楽しめます。



あと一つ、湯畠広場の南西に一ヵ所、町有地が採石を敷いたままの駐車場となつてゐることです。この駐車場については、ある意味では利便性もあるのですが、広場全体の景観を考えると、大変見苦しいものとなつてゐます。

平成16年に「景観法」が成立したことにより、地域の個性を生かした魅力ある街なみづくりに拍車がかかりました。草津町も本格的に街なみ整備に取り組むこととなり、平成22年度より国庫補助事業である「街なみ環境整備事業」に着手しました。

ポイントは二つ、市街地の「景観ルールづくり」と湯畠にかかる所のある空地整備をメインとした「湯畠広場の再整備」です。

「景観ルールづくり」につきましては、市街地を5つの地域に分け、地域ごと

にその個性を生かした景観ルールをつくります。具体的には、建物の高さや色彩、屋外広告物の掲出等で、建物外観の改修等には助成金を出すことにより、地域の魅力ある町づくりを推進させます。

なお、地域の景観ルールづくりについて、地域の人達が自分で考へ、そして自分達が納得したルールをつくりてこくこと第一と考へ、行政サイドからはアドバイスはあるが、押し付けることはしない、いわば、「地域づくりはアドバイスはあるが、押し付けることはない」、地域づくりには地域の人達で、というスタンスをもって、これから草津町の担い手である、地域の青年部の方々を中心にして取り組んでいます。

平成23年度は、「湯畠地区」において景観ルールづくりを行ひ、地域住民の了解も得られました。平成24年度も他地区でのルールづくりを行つてあり、平成24年度中には予定した地域のルールづくりが完了します。

「湯畠広場の再整備」につけては、大きいく三つの柱があります。「一つある空地の一つには、「湯源（とうげん）の湯屋」として昔ながらの温泉情緒を満喫できる浴場施設を建設し、観光客の方々に本物の温泉を味わつていただけます」というものです。

あと一つの空地については、「湯路（とうじゆ）広場」（イベント広場的な公園）を整備し、湯畠の賑わいを演出しようとすむのです。そして最後に、「湯もみシロー」で人気のある「熱の湯」が老朽化してしまったため、これを建替えようとしているのです。



湯源の湯屋、イメージ図

この「湯畠広場の再整備」についても、地元住民や観光業界の代表者、議会議員への丁寧なヒアリングを行い、再整備構想を策定、町民全体説明会を実施するなど、いろいろな段取りを踏んで事業をスタートさせました。なお、住民説明会では、大部分の方がこの事業に大きな期待を寄せ、賛同していただきましたが、意見の中に、町の財政が厳しいこの時期（おりしも住民説明会の開催時期が、東日本大震災と重なつてしまふ、日程を変更しての開催となりました）、なぜ「箱物」を作らなければならぬのかどうの意見もありました。

しかしながら、「湯畠」として第一級の観光資産がありながら、その周囲

では採石を敷いただけの土地が仮の駐車場として、ある意味では放置されていたところことは、観光地として大変恥ずかしいことであり、決して「箱物」をつくるのが目的ではなく、湯畠周囲の景観を整え、湯畠といつ観光資産をさらに魅力あるものにしようとする第一の目的であることを重ねて説明し、理解を求めました。

「景観ルールづくり」と「湯畠広場の再整備」、この二つの事業が進展するにしたがつて、草津温泉を訪れるお

客様には、そのたびごとに、生まれ変わつていくその姿をお見せでもると思つています。

平成23年度では、景観ルールに基づいた助成金制度もスタートし、すでに何件かの申込みをいただけており、街並み整備が具体的に動きはじめました。また、湯畠広場に目を向ければ、「湯源（とうげん）の湯屋」の建築設計とともに、同地裏側にある擁壁の補強・修景工事も行っており、平成24年度にはじよりよしよ本格的な建築工事がはじまり、事業が具体的な形となつて見えてきます。

おわりに

私は行政のトップに立つ者として、観光による経済の活性化、そして福祉と教育の充実を、町政の基本的な柱としてこなします。

特に「観光」につけてですが、草津温泉といつ商品をいかに魅力ある商品として磨き上げるか、そして草津温泉に来ていただいたお客様に感動と喜びを与えることができるか、それが何よりも大事なことだと考へています。



草津町の 国際交流行動



草津温泉の道の駅にある「ベルツ記念館」にベルツ博士に関する様々な情報が表示されています。

中学生のホームステイ

1997年からほぼ毎年草津町中学校はビーティヒハイム・ビッシンゲン姉妹都市のビッシンゲン実科学校と短期交換留学が行われます。最初の何年間はビーティヒハイム・ビッシンゲンの他に、チエコのカルロビ・ヴァリや他のドイツ隣国にも訪問しておりましたが、現在は、7月に約一週間ビーティヒハイム・ビッシンゲンだけ訪れます。

逆に、ビッシンゲン実科学校の生徒は9月に草津を訪問します。2009年（新型インフルエンザ）、2011年（東日本大震災）のホームステイは中止になりましたが2012年はまた実施する予定です。

参加者は7～8人で、引率は中学校の英語教師とドイツ語圏の草津町国際交流員に頼みます。ドイツへのホームステイに参加した子どもの家族はホストファミリーとしてドイツの生徒

を受け入れる必要があります。これが大切な点で、一方的なホームステイでもいい経験になるのかもしれません。最初からお互いの訪問が予定されていること、より深い交流ができるよう

です。

ホストファミリーが決まった時に生徒はドイツのパートナーと電子メールで交換をし始めます。7月のビーティヒハイム・ビッシンゲンへの派遣を実施した後には、9月の草津での再

草津町には、年間約280万人の観光客が訪れる観光地であり、うち外国人宿泊者が、約14千人です。

草津町は、観光立町として一層の発展を遂げるため、「国際観光の振興」を柱の一つとして、平成25年までに、外国人宿泊者数を年間5万人にする目標としています。

姉妹都市関係

草津町は、①ドイツのビーティヒハイム・ビッシンゲン（姉妹都市提携1962年）、②オーストリアのノイシティイフト・イム・シュトゥーバイタール（姉妹都市提携1986年）、③オーストリアのスノーアイ・リバー（姉妹都市提携1991年）、④チエコのカルロビ・ヴァリ（姉妹都市提携1992年）と姉妹都市が4つあります。

明治時代に雇い外国人として日本に招かれ29年にわたりて医学を教え、医学界の発展に貢献しました。大正天皇の侍医でもあったベルツ博士が「草津には、無比の温泉以外に日本で最上の山と空氣と、全く理想的な飲料水がある。こんな土地がヨーロッパにあつたとしたら、カールスバート（カルロビ・ヴァリ）よりも賑わう」とだらう」と評価し、草津を温泉保養地として世界に紹介しました。



▲姉妹都市ビーティヒハイム・ビッシンゲンへ留学

余を楽しみにすれりと、つながりが出来ていいのです。やるに、ドイツでは英語を日常生活にあまり使わないと、日本では、両方が母国語と違う英語で会話をすれることで、バランスがとれる面があるのです。

しかし、問題は、ドイツには申込者はけつても多い一方で、草津は少ない点です。

理由は、家族はドイツからの生徒の受け入れが不安、夏休みの部活で忙しいことなどが考えられます。

わーいつピーティヒハイム・ビッ



▶草津町でのホームステイ

◀草津町での浴衣体験



シンゲンの方から聞こえてくる問題点は日本の生徒の英語能力です。

ドイツの生徒は、早くから英語を勉強しているので日本の生徒より能力が高いのは仕方がありません。ただ、最近日本も5年生から英語の授業があるので将来的にはこの状況は改善されてしまうことが期待されます。

基本的には、参加者は英語で会話するのに興味があつて、間違つても話してみると姿勢が一番大切だと思ひます。

ピーティヒハイム・ビッシンゲン

滞在中は週末が自由行動です。草津では、自由行動は一口だけで、他のプログラムは町が企画し率してします。ホームステイを通して、草津の中学生が違う文化や習慣を経験し、若い間に外国に対する不安や恐怖を取り除くことが重要です。そして、英語の勉強は試験のためではなく、海外の人と交流するために必要な勉強であることを理解して欲しいと思います。今は、インターネット時代で、ホームステイ終了後も連絡を取り合つ生徒が多いので、終生変わらぬ友情を結ぶ場合があります。

姉妹都市公式訪問

日本ロマンチック街道

平成24年はドイツのピーティヒハイム・ビッシンゲンとチエコのカルロビ・ヴァリが、姉妹都市関係の記念式に草津を訪問する予定です。

ピーティヒハイム・ビッシンゲンとは50周年、カルロビ・ヴァリとは20周年のそれぞれの記念となります。また、草津からの訪問団は2013年にピーティヒハイムを訪れる予定です。

労力や費用はかかりますが直接会い、友好関係を深めることができる機会は千金の値打ちがあると思ひます。

毎年8月に「草津夏期国際音楽アカデミー＆フェスティヴァル」が行われます。日本はむとより各国の優れた音楽家による2週間のワークショップで直接指導を受けることができます。毎晩、この演奏家などのコンサートも行います。

草津町は日本ロマンチック街道のメンバーです。ドイツバイエルン州のヴュルツブルクからフュッセンまでの366kmのロマンチック街道を模範として、1982年に作られた長野県小諸市から栃木県日光市までの全長約230kmを通過する広域観光ルートです。1988年、日本ロマンチック街道協会は友好街道の締結をし、定期的に意見交換を行います。2009年に作られた韓国ロマンチック街道とも友好街道関係が決まりました。草津町の道の駅に日本ロマンチック街道資料館がありま。

草津町 愛町部 観光課

(平成24年2月13日付第2789号)

—動画サイト「もろやま 親子で学ぶ基礎学習」を公開—



埼玉県 毛呂山町 もろやままち

毛呂山町は、かつて関東平野の純農村でしたが、昭和38年頃から首都圏のベットタウンとして開発が始まり、人口3万7千人になりました。

西部山間地は、日本最古ともいわれるゆずの産地で、住宅地が広がる中央台地部では、流鏑馬の伝統行事が受け継がれています。東部低地は、肥沃な農地が広がっています。

埼玉医科大学病院の立地により、近年は最先端医療のまちとして、さらには発展を続けています。

ICTの波

このよきな町の行政にて、ICTの波が押し寄せたのは平成6年の頃です。「汎用機の時代が終わりパソコンの時代になる」「すべての職員は時代に遅れないように準備しなければなりません」とされ、平成8年には職員全員が

出雲伊波比神社流鏑馬祭 夕的(ゆうまとう)
乗り子は、町内の小中学生。平成12年には
「埼玉県ふるさと自慢百選」に選ばされました。



文書作成ソフト、表計算ソフトを研修しました。

しかし、パソコンの整備が間に合わず、300人のうちの100人の職員が、当時40万円はしてたパソコンを自前で購入、業務に使用しました。

昭和50年頃、8桁の電卓が1万円で、税務担当者は申告受付に使つたままでそれを買って、大事に抱えていました。

それから20年、こんどはみんなでパソコンを買つたのです。

汎用機よりさらに利便性の高いコンピュータを、職員が自分で買えるよう

私たち、「とんでもない時代が来る」と、肌に感じました。
しかし、パソコンコンピュータの登場は、職員のアイデアだけで住民の暮らしを豊かにする利便を自治体に提供する、と感じました。

民間は会社の利潤を追い求め、自治体は住民の福祉を追い求めます。多額の経費を注いで職員研修を行い、機器を整備し、ネットワークを整え、そうして得られた膨大な利便性を、住民の立場から使いこなすことが求められる、それが強く意識されました。

パソコンの時代になつたとはいえ情報処理機器はまだまだ高価です。住民1人1台はおろか、一世帯に1台であつてもそれを維持する」ことは簡単ではありません。

行政の一〇一化が、そのような住

うになり、「時代に遅れてはならぬ」ところの地方公務員としての『感概』が示される、そのような場面になりました。

変革の時

民を含むすべての人々に対しても、いかにも暮りし匂わにしながら、行政としての方策を考えなければなりません。

動画の可能性

そして、毛呂山町は、映像（動画）の活用に着目しました。

映像は、一目見るだけで伝えたいところを指示することができる特性をもつてます。

が、従来、映像資料は制作・複製・上映のそれに大きな経費が必要で、これを自治体の小さな施策にいかすのは困難でした。

そして、パソコン、「デジタルカメラ」、DVDといった機器が登場し、これらの課題を一掃。制作・複製・上映のどの場面においても、きわめて軽費で取り組みが可能になりました。

特にアニメーションは、制作のすべてを個人が机上で行つことが可能です。平成19年、私たちは窓口の案内や、小さな商店のコマーシャルを作製しました。その試みをくりかえすうちに職員の中から、「基礎教育の場において大いに有効」と提言を受けました。

自治体業務のアニメーション化は、

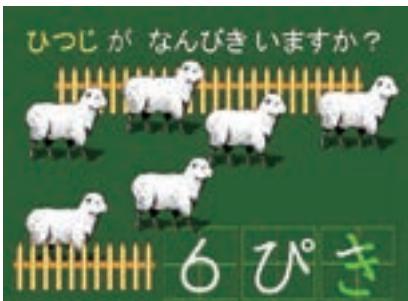


▲ひらがな「あ」の筆順。画像をクリックすると起動します。

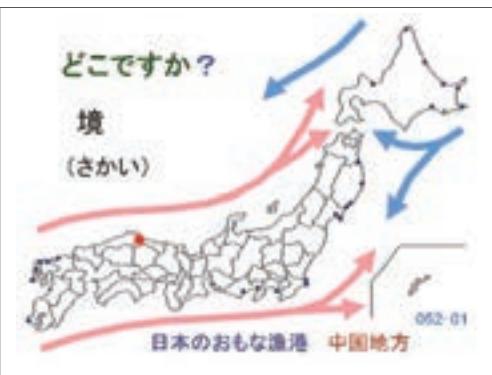
◀「のはら」をテーマにしたば
の筆順を学びます。
◀ひつじの画像で数の数え方
を学びます。



◀数えましょう。
1から10まで。



◀英語。
曜日を書いて覚えます。



◀地理。
日本のおもな漁港を地図で覚えます。



◀漢字「愛」の筆順。1字ずつ5回学びます。



◀「尊敬」ほか熟語の筆順を2回学びます。



◀数えましょう。
1から10まで。



◀英語。
曜日を書いて覚えます。

各学校に50枚ずつほど提供しましたが、思つよつな反応はありませんでした。

漢字の読み書きや計算の基礎、歴史や英語の分野も作りました。基礎教育へのアニメーションの活用が、学習にのぞむ子どもたちの負担を軽減し、教育の改革に大きく貢献すると確信する一方、基礎学習の分野は広大

自力での対応を覚悟した私たちは、小学生が習う漢字1,006字のアニメーション化に取り組みます。

漢字1字のアニメーションが50秒として、1秒間にセル画10枚を使う場合、セル画1枚を200円と計算すれば、従来のアニメーション制作の手法では、漢字1,006字を仕上げて1億円以上が必要になります。

て教科書体のフォントを使用、毛筆特有のしなりや勢い、撥ねや留めを、できるだけ損なつことないように心がけました。

1字目からはじめて1,006字目まで行くと、その間に作製技術が大きく向上するため再度、1字目から取り組むことになりました。

このようなことを4回ほど繰り返して、平成20年3月に完成しました。

5つの速さの九九

九九の練習を作りました。

5つの速さで練習できるものにし、DVD化によって家庭での利用も可能にしました。そして、町内の小中学校から各家庭に貸与するかたちにしました。

DVD化によって家庭での利用も可能にしました。そして、町内の小中学校から各家庭に貸与するかたちにしました。

九九の練習を作りました。
5つの速さで練習できるものにし、
DVD化によって家庭での利用も可能にしました。そして、町内の小中学校から各家庭に貸与するかたちにしました。

九九の練習を作りました。
5つの速さで練習できるものにし、
DVD化によって家庭での利用も可能にしました。そして、町内の小中学校から各家庭に貸与するかたちにしました。

ユーチューブの利用

そのほかにも数多くの作品を仕上げ、無償で提供できることになれば、自治体におけるアニメーション活用に大きな前進がもたらされると考えました。

有名企業や関係団体にも協力を求めました。しかし、ご協力いただける団体はありませんでした。

教育委員会からヒントをいただい

たため、ユーチューブを利用しました。

そのほかにも数多くの作品を仕上げ、取り組みを多くの方に知っていただけたため、ユーチューブを利用しました。

パワーポイントを動画ファイルに変換する適切なソフトがないので、パソコンの画像データをテレビ信号に変換して録画、これをDVD化してそのディスクから動画ファイルを抽出する方法で、平成20年5月までに概ね600点の動画をアップしました。

なめらかなアニメーションで漢字の筆順1,000字を提供する動画サイトは前例のないものとなりました。私たちもこの試みが無償であることを念め、先進のものである確信を持ちました。

補助金の活用

このよきな経過を経て、平成21年6月、国の年度補正予算の地域情報通信技術利活用推進事業の採択を受け、町独自の公開サーバーを設置する機会が与えられました。

公開サーバーの活用により、私たちのこれまでの取り組みを、全国に向けて公開し、取り組みの真価を確かめることになったのです。

私たちのアニメーションは、すべてマイクロソフト社のパワーポイントを使って制作されています。これをDVD化したりインターネット公開した

りかるために、どうしてもパワーポイントからスマートに動画ファイルに変換するツールが必要です。

平成21年12月、eワーニングを専門に行う企業からの変換ソフトを入手できました。その後は、すでに作製されていたコントンツの再構成を行い、2ヶ用で10,000点のファイルを動画に変換、そこからさらに2ヶ月をかけ、その動画ファイルをインターネット公開可能な形式へと、7,000点を変換しました。

公開と停滞

インターネット公開が行われると読売新聞、朝日新聞、東京新聞などに取り上げられ、ネット上でも話題となり、5月には多くの方がサイトを訪れるようになりました。

しかし、そのような利用は一過性のもので、話題にはなったものの物珍しさによるアクセスが多く、「親子で学ぶ基礎学習」の本来の趣旨に沿う利用が、納得のいく広がりを見せていったことはありません。

そして、「傑出し、画期的な取り組みである」との評価が寄せられる一方、「作品が単調で魅力がない」とある評

価もあり、今後の展開が重要です。

インターネットは、仕事、趣味、経済活動のいずれにしても、未だその利用のほとんどが個人中心で、ひとつのパソコンの画面を親子がのぞむいみ時間と共に共有する、そのよきな文化は未熟です。たゞに、「デジタルテレビとインターネットがブロードバンド接続され、茶の間で家族全員がインターネット」コントンツを利用する、そのよきな時代までまだしばらく時間が必要です。

打開の切り札

しかし、私たちはこの取り組みの有用性について、せりに訴えを拡大させていかなければなりません。

インターネットが、いまだ個人レベルでの利用を脱しないツールであるなら、インターネットを盛んに利用している人々が、いわつて「役立つ」と認め合ひださるよきな取り組みを、具体的に進めていくことが必要です。

英単語や英文基礎、その習得の場にアニメーションを開拓し、このサイトの主張と有用性を明らかにして利用者の増加を図り、たゞにはインターネットで結ばれる全国の小学校、中学校の教室においても利用が進むよう、訴

えてきました」と書かれています。

町内においては、生涯学習課を中心に、家庭教育の改革を目標に、取り組みを進めています。

当サイトは、各検索サイトから「親子で学ぶ基礎学習」と入力してアクセスできることができます。

皆さまの「利用」と「支援」を、宜しくお願いいたします。

（平成22年8月9日付第27回の記）
情報推進室 新井康之



▶親子でひとつの画面に集中。共有する時間は親にとっても子どもにとっても貴重な時間です。

「木」をキーワードに、 都市と農村の交流で町の活性化を

—植えて育てる林業から、伐採し、活用し、植える林業へ—

ときがわ町は、 首都圏に近い「木のまち」

ときがわ町は、埼玉県の中央部に位置し、都心から60キロメートル圏内と、比較的都心に近い場所にあります。

町の面積56平方キロメートルのうち7割が森林であり、その森林の多くがスギ・ヒノキなどの針葉樹で、この材料を利用した建具産業に代表される木製産業を中心にしてきました。

この産業の発展の源は、埼玉県でも数少ない国宝である「法華経一品(いっぽん)経」を有する、「慈光寺」にあります。良材のあるところに名刹あり。鎌倉時代、寺の建立のために各地から呼び寄せられた「番匠(ばんじよう)」と呼ばれる大工などの木工職人たちがこの地に定住し、彼らの優れた技術と地元の良質な森林資源を基に起こしたのが、建具産業であると言われています。

平成18年2月、都幾川村と玉川村が合併して、人口約1万3千人のときがわ町が誕生しました。今回は、合併後のまちづくりの施策と、森林資源を活用する「木」を活かした町の活性化への取り組みをご紹介します。

「ときがわ方式」による 公共施設の内装木質化

合併前の玉川村では、民間企業の経営に対する考え方をいち早く導入し、バランスシートにより財政の健全化に努めてきました。その手法は合併後

ときがわ町にも生かされており、平成21年度決算で実質公債費比率は3・5にとどまっています。

合併後、これまで財政的理由で未着手であった公共施設の耐震化工事を、合併特例債を有効に活用し、順次実施しているところです。これらの工事、特に小中学校の大規模改修には、ときがわ町政運営における「イノベーション(意識改革)」、「オリジナリティ」、

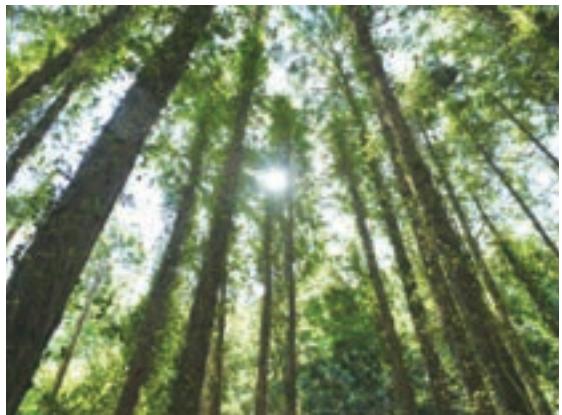


埼玉県 ときがわ町

▲「木の産業」の源である、国宝「法華経一品経」を有する、都幾山慈光寺



▲木質化した学校の廊下



▲ツルが巻き付き、枝打ちもされていない荒廃した山林

▲とぎがわ産材で生まれ変わった、都幾川中学校体育館



○重要な山林の循環サイクル

整備は、「とぎがわ方式」として注目されています。建替えと比較して低コスト、短期間で実施可能なこの方法は、夏休みの期間に工事を行い、新学期に生まれ変わった校舎で子どもたちを迎えることができる、新たな木の学校づくりのモデルとなっています。

「ローコストマネージメント」の3つの理念と、町の森林資源を有効に活用する「とぎがわ方式」が生かされています。

○森林環境と教育環境を同時に改善
ときがわ町では、面積の7割を占める荒廃した山林の再生が、懸案事項のひとつでした。全国的にも戦後造林された人工林が資源として利用可能な時期を迎える一方、木材価格の下落等の影響などにより森林の手入れが十分に行われなくなつた結果、二酸化炭素吸収機能、水源かん養、土壤保全など、本来森林が持つ機能の低下を生じさせています。

○「とぎがわ方式」の教育環境整備

戦後全國に建てられた小中学校の校舎のうち、80%以上は鉄筋コンクリート造で、この種の建築物の寿命は、適切に木を利用することが必要です。

50～60年といわれています。これらの校舎は、建替えるあるいは改修の時期が迫りつつありますが、安全面を考慮しつつ、最も経費を抑えた改修方法として、耐震補強を施し、外壁を塗り替え、屋上の防水加工を行い、同時に内装も木質化することで新築同様の「木の学校」として校舎は生まれ変わります。仮に木造新築の学校を建築した場合、1校で10億円以上の経費がかかるそうです。これに対してとぎがわ町の手法では、新築1校に満たない金額で、財政を圧迫することなく木造小学校1校と、鉄筋コンクリート造の小学校2校、中学校2校をリニューアルすることができます。これが出来ました。この地域産材での内装木質化と耐震改修による教育環境の

○重要な山林の循環サイクル
教育施設の内装木質化は、木材の持つ調湿機能による健康面への効果や安全性の向上などに効果が見られます。また、役場庁舎や公民館の内装木質化、木造の地域集会所や観光施設、庁舎内のサイン類や町職員の名札に至るまで、「木づかい」にこだわっています。

木材を資材として積極的に活用し、伐採後は針葉樹と広葉樹をバランスよく混交林として植樹すれば、水のかん養、二酸化炭素の吸収効果等が期待されます。こうした「伐採し、活用し、植える」という山林の循環のサイクルを確立することは、川の上流部の私達にとっても、下流部の都市部の人たち



にひとつの一つ一つの要素が重要な資源にもなります。

町では、手軽に田舎を楽しんでいただく施設を中心に整備を進めています。ときがわ町の観光は、観光事業者が観光商品を開発する「発地型観光」ではなく、地域と行政が自らの発想力と想像力で地域固有の観光商品を開発する「着地型観光」です。地元に伴い、ときがわ町では埼玉県内の自治体では初となる「町有施設の木造化・木質化等に関する指針」を策定し、さらなる林業振興を推進しようとしています。「植えて育てる」林業から前進するため、木材を供給する川上と、消費する川下の結びつきを強化し、木材全体の需要拡大に取組みたと考えています。

観光入込客数 100万人を目指す

○都心に近い田舎の利点を活かしてときがわ町は、都心から日帰りでできる、都会から近い「田舎」です。田舎であることは、見方を変えれば田舎



▲渓谷のほとりに古民家のたたずまいの日帰り温泉施設「四季彩館」



◀ヒノキ間伐材に発生したナメコ

○原木キノコを特産品に

近年ときがわ町では、新たな特産物づくりとして、原木栽培によるキノコの生産に取り組んでいます。特に、これまで不可能とされてきた針葉樹であるヒノキ原木からナメコを発生させる技術は、豊富にあるヒノキ間伐材の有効活用として期待されています。

生産したナメコ、マイタケ、シイタケなどのキノコ類は、町内にある4か所の町有直売施設で、主に観光客に対して販売されるほか、町内のうどん店やそば店などで味わうことができます。原材料の原木調達から栽培地である山林、販売施設や飲食店などキノコ流通の一連の流れが、ときがわ町内で完結できます。これも、都心に近い田舎ならでは



▲難所「白石峠」に集うサイクリスト

であることの一つ一つの要素が重要な資源にもなります。

町では、手軽に田舎を楽しんでいただ

く施設を中心にはじめています。と

きがわ町の観光は、

観光事業者が観光商

品を開発する「発地

型観光」ではなく、

地域と行政が自らの

発想力と想像力で地域固有の観光商品を開発する「着地型観光」です。地元のお母さんたちの指導で伝統食である

うどん・そば打ちが体験できる施設、澄んだ空気の中で星空観測を楽しめる施設、清冽な水をたたえた渓谷のほとりで温泉入浴が楽しめる施設。これらが整備した観光施設は、どれも環境の良い田舎であることを資源として捉え、地域の人的資源をも活用し、東京から近いことの優位性に着目した、都

市と農村の交流体験型の施設です。

○サイクリストを「客」に取り込め

2004年の埼玉国体で、ときがわ町は自転車ロードレース大会のコース上で最大の難所になりました。国体終了後、コース上で最大の難所である「白石峠」は、サイクリスト達の間で「聖地」のごとく扱われるようになり、折からの

サイクリスト達で賑わいます。どこか

う来たか聞くと、「東京の〇〇区から

走つてきました」との返事は珍しくな

く、私たち地元の者を驚かせます。

しかし、生活道路の自転車交通量が増えると交通事故の発生が懸念され、

交通の妨げになるルールに反した走行

は、地域住民にひとては迷惑なものと

思われる行為が問題となっています。

しかし、生活道路の自転車交通量

が増えると交通事故の発生が懸念され、

交通の妨げになるルールに反した走行

は、地域住民にひとては迷惑なものと

思われる行為が問題となっています。

しかし、生活道路の自転車交通量

が増えると交通事故の発生が懸念され、

交通の妨げになるルールに反した走行

は、地域住民にひとては迷惑なものと

思われる行為が問題となっています。



◀ i かわらばんの情報端末

○町が主体的に情報通信基盤を整備
ときがわ町は、民間事業者による
高速通信環境の整備が遅れており、町
内で ADSL でしか利用できな地域
がありました。このため、若者の間で
は生活する上で欠かせないものとなっ
てじる、インターネットを利用できな
い地域が存在していました。少子高齢
社会を迎えてい
るときがわ町に
とつて、若年層
の町外への流出
を食い止めるこ
とは、重要な課
題です。「イン
ターネットが利
用出来ない町に

高齢化対策の重要な施策でもあります。

15%の伸びとなりました。

今後は、町の森林資源を活用し、森
林整備と木材の利用、それぞれの産業
における雇用の創出のための事業を実
施し、併せてそれらの産業に就業を希
望する若者が、ときがわ町に定住化す
るための住居を確保する事業を実施し
て、課題の解決を図っていきます。

ときがわ町長 関口定男

なります。今後は、自転車のマナーップ
を呼びかけた上で、これまでただの
通過者であったサイクリスト達に町内
の店舗や温泉入浴施設を利用してもら
える仕組みを整え、「お客様」として
もてなしていくことを考えております。
これら様々な手段を講じて、平成
22年度の時点で90万人である観光入込
客数を、28年度までには100万人に
までに拡大することを目標に、努力し
ています。

合併後の基盤整備の推進

○バス体系を「ハブ＆スポーク化」
合併により町の面積が拡大したこと
により、町民のバス路線へのニーズ
が多様化し、単に町内にあるJRの駅
への輸送だけでなく、より利便性の高
いとなり町にある私鉄駅への接続が求
められるようになりました。

公共交通機関であるバス路線の充
実は、通勤通学者の足を確保する事、
高齢者が住み慣れた自宅での生活を継
続させる事などの点で大変重要であり、
単なる利便性の向上のみでなく、少子
高齢化対策の重要な施策でもあります。

これら様々な手段を講じて、平成
22年度の時点で90万人である観光入込
客数を、28年度までには100万人に
までに拡大することを目標に、努力し
ています。

この光ケーブル網を活用し、町から
の情報発信ツールとして、NTTの
「光ファーレーム」の端末を利用し、ツ
イッターの技術を応用した「i かわら
ばん」と呼ばれるタッチパネル式の情
報端末を町民や町内事業者に貸し出し、
利用していただいている。町からの
イベント情報、観光情報などの行政情
報はもちろん、端末を借り受けている
町内の商店などが発信する売り出し情
報などについても、文字と写真で「i
かわらばん」利用者に情報発信してい
ます。（※平成25年サービス終了）

町では、「公共交通活性化協議会」
を立ち上げ、町民代表や大学の有識者、
バス事業者など、多角的な見地からバ
ス体系の在り方を検討しました。その
結果、「ハブ＆スポーク方式」を採用
したバス体系へ一新することになり、
バスセンターを中心に放射状にJR系
1駅、私鉄系3駅へのスマートな接続
を可能にしました。



山間部をきめ細かく走るデマンドバス。町民の関心は高く、利用説明会には多くの人が訪れ、職員の説明に耳を傾けた。

イベント情報、観光情報などの行政情
報はもちろん、端末を借り受けている
町内の商店などが発信する売り出し情
報などについても、文字と写真で「i
かわらばん」利用者に情報発信してい
ます。（※平成25年サービス終了）



▲ハブバス停。
すべてのバスは、ここから放射状に目的地へ

ときがわ町長 関口定男

（平成23年7月25日付第276回）

人自然歴史が 調和した活力あふれるまちづくり

—住民満足度の向上へ—

**水と緑に包まれた
豊かな自然**

酒々井町は、千葉県の北部、北総台地の中央に位置し、人口21,244人（平成23年6月1日）、総面積19・02km²、東西4・2km、南北6・2kmと小さくまとまった町域となっています。また、都心から50km圏内にあって、緑豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。

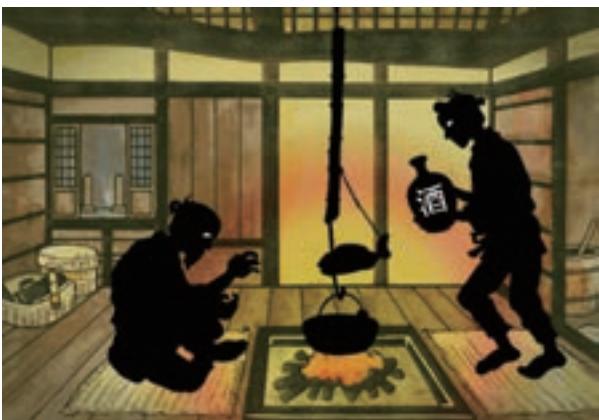
町名は、北部に印旛沼、南部には高崎川周辺に田園地帯が広がり、清らかな湧水や地下水が豊富なことから、親思いの孝行息子が見つけた井戸から汲んだ水が酒になったという「酒の井伝説」に由来しています。

天正19年（1591年）、徳川家康の町建てにより中世の町として誕生し、明治22年の町村制施行により近隣16か町村が合併し、新生「酒々井町」



千葉県 酒々井町 しそいまち

►酒の井伝説



▼奈良二彩椀



在の千葉県北部と茨城県南部）に君臨した千葉氏が本佐倉城を築城してから豊臣秀吉の天下統一により滅ぼされるまでの約100年にわたり政治、経済、文化の中核的役割を果たしました。

江戸時代には佐倉藩の

城下町として、また徳

川幕府直轄の佐倉牧

（野馬牧場）の野馬

会所の地、さらには

成田山や芝山参詣

客の宿場町として栄

えました。

町の長い歴史の中で

►獅子舞の里



平成17年3月の住民投票により、隣接する佐倉市との合併をしなさい」とで自立自立の道を選択し、地域の活性化を図しながら町民の誰もが住んでよかつたと思えるありのべく進めていきます。

歴史的文化遺産 眠りから覚めた

酒々井町には、約3万年前の旧石器時代の遺跡、奈良時代の一彩楓や千年前の印東庄（じゆとうのじょう）の景観が残り、戦国時代には下総の国（現

最も脚光を浴びたのは、今から約500年前、下総守護の居城、本佐倉城の時代でした。この城跡の規模は35万坪にもおよび、現在でも土塁や空堀などがほぼ完全な姿で残されており、重要な文化財として平成10年に国の史跡に指定されました。

町では、「国指定史跡本佐倉城跡整備実施計画」を策定し、発掘調査を平成15年から始め、城山郭からは城主が執務や接待をする主殿や会所などの大形の建物跡、櫓跡、門跡、堀跡が見つかり、本佐倉城は今再び目覚めようとしています。

してこます。現地ではボランティアガイドによる案内で楽しむことができるので、戦国時代に想いを馳せながら散策してみてはいかがでしょう。

また、町内3地区（墨・馬橋・上

岩橋）で笛や太鼓の音に合わせ、五穀豊穣や家内安全などを祈願して演舞される獅子舞が残されています。こ

れらは江戸時代から続く「三匹獅子舞」で、それぞれの地区の個性が見られ、今なお地元の方々の手により伝承されている「獅子舞の里」の見

酒々井ブランドの創出

◀朝一番にしぼった新酒をどうぞ(新酒祭)



しそじハーブガーデンは、「ハーブのまち酒々井」を広く皆さんに知つてもらおうと、ふるさと産品育成協議会と町との協働により、世界各地のハーブを150種類以上収集して植栽した本格的なハーブガーデンです。

春から秋にかけてガーデン内ではそれぞれの季節の愛らしさ花々が咲き、爽やかに香る風に揺れています。なか



そして、地名にちなんだ酒々井ならではの魅力を再発見しようとの住民の発案に地元の蔵元が賛同し、皆で楽しく「酒々井新酒祭」が平成23年に6年目を迎えていきます。

さらに、平成22年度には協働のまちづくりのもと、地域産業の発展と観光振興、町のイメージアップを図るために、商工業や農業者、郷土を愛する町民の方々、それに町を加えた「酒々井ブランド創出会議」を組織し、地域資源を活用した新たな特産品やイベントを「酒々井ブランド」として開発・創出するための調査・研究を行つてこます。

園内には観賞用ガーデンのほかハーブショップでは、ハーブ苗やクッキー、ジャム、ハーブティーなどハーブ関連商品を多数取り揃え、平成20年10月からは喫茶コーナーをリニューア

ルし、ハーブを使った軽食なども楽しむことができ、今では年間約1万人の来場者で賑わっています。

また、35年前から秋に行われている「ふるさとまつり」は、町の特産品や産業の紹介、新鮮野菜の即売やチャリティバザーなどが行われ、町民と町が一体となつた一大イベントとなつています。

そこで、地名にちなんだ酒々井ならではの魅力を再発見しようとの住民の発案に地元の蔵元が賛同し、皆で楽しく「酒々井新酒祭」が平成23年に6年目を迎えていきます。

さらに、平成22年度には協働のまちづくりのもと、地域産業の発展と観光振興、町のイメージアップを図るために、商工業や農業者、郷土を愛する町民の方々、それに町を加えた「酒々井ブランド創出会議」を組織し、地域資源を活用した新たな特産品やイベントを「酒々井ブランド」として開発・創出するための調査・研究を行つてこます。

これまで、公募によつたたくさんの「酒々井ブランド」のアイデアが寄せられ、今後、幅広い意見を取り入れながら具体化への検討をしてくるといふ

優れた都市基盤

美しい自然や豊かな緑の保全に配慮し、機能的で快適なまちづくりを進めるには、交通体系や上下水道など都市としての基本的な基盤整備が不可欠です。

町内の鉄道は、JR成田線、総武

本線、京成成田線の3線に4つの駅が配置され、東京へ約1時間、成田空港へ約15分で結ばれています。JR酒々井駅への快速電車の全便停車やJRと京成の両酒々井駅舎と駅前広場、ついにはエレベーターの整備も平成22年までに完了し、利便性が向上しました。

一方では、路線バスの一部廃止などから高齢者の増加に伴う公共交通に対する要望が多様化しており、平成16年に自宅から目的地まで送迎する「スマート交通システムによる「しそじふれ愛タクシー」の運行を開始し公共交通手段を確保しています。

道路は、主要国道51号と296号の2本が縦横に走り、4車線化により渋滞緩和を図るほか、東関東自動車道の酒々井インターチェンジが平成25年4月に開通し、その隣接地には大型アウェレットを開発・運営する企業が進

▲JR酒々井駅



▲デマンド交通システム ふれ愛タクシー

▲京成酒々井駅



▲しづいの水



認可を受けて実施しています。平成22年度末の整備面積は380haで、普及率は9・9%となっています。市街化区域の整備はほぼ完了し、引き続き市街化調整区域への拡大を図ることも、平成26年度の公営企業法適用化を目指しています。

幸いにしてこの度の東日本大震災では、町民への大きな被害はなく、都市基盤にも大きなダメージがなかったこと、「酒々井ブランド」の一つとして安全なまちをアピールしていくことも大切なことだと考えております。

先進福祉千葉県一の まちづくり

出し、インターを中心とした周辺道路網の整備も進められて

います。

計画給水人口6,200人の広域簡易水道事業から開始した上水道は、現在では計画給水人口22,700人、1日最大給水量9,100m³の事業認可を受けて運営しており、普及率は92・9%となっています。町名の由来にもあるように豊富な地下水により、現在10本の取水井で水源の大部分をまかなっています。

また、下水道は、印旛沼流域関連公共下水道事業として544haの事業

まれています。

▶首都圏最大級 パークゴルフ場



さらに商工業や農業では、従事者の高齢化や後継者不足が深刻化しており、遊休農地の増加とともに環境や美観などへの影響が懸念されています。このようなことから、未来に向けたまちづくりについて考えようと保健、医療、福祉、スポーツ、レクリエーションサークル、商工業及び農業の関係者など様々な分野の方々で構成する「先進福祉ビジョン懇談会」を設け、平成22年6月からの回にわたり多角的な視点から「先進福祉千葉県一のまちづくり」すなわち「地域のつながり、支え



▲順天堂大学裸まつり



▲年間8万人が来場 ちびっこ天国

合ひ、助け合い及び郷土愛を基本として、町民一人ひとりが自然と文化と調和した健康で幸せな生きがいのある豊かな生活を送れるまちづくり」について自由闊達に議論を重ねてきました。

先ず現状を把握し、今後の各種施策の方向性を議論する中で、解決すべき課題や問題も浮き彫りとなりました。今後、様々な施策を推進し課題などを解決するためには行政と町民が一体となつて協働することが必要であり、特に町民のいろいろな活動への自主的、積極的な参加及び考え方、助け合いが重要であり、施策の推進にあたっては先ずできることから実現して頂き、将来に向かって不可能と思われることでも可能に変えていく関係者の努力や情熱が必要になります。

コンパクトシティを目指し、 町 자체をブランド化へ

町はこれまで簡素で効率的な行政運営に努め、職員の意識改革と行財政改革により、財政力の向上を図るとともに、節減した予算を活用し、子育て支援や安全・安心のまちづくりなど新たな施策に取り組んできました。

特に平成22年度は、町独自の施策

として予算も医療費の助成を小学校6年生まで拡充して実現するなど、子育て環境の充実を図ったほか、各小学校の耐震化工事の完了により、当町はいち早く学校施設耐震化率100%を達成することができました。

さらに、ユーバーサルデザインのまちづくりの一環として、JR・京成西酒々井駅のエレベーターも供用が開始され、中心市街地の活性化への取り組み、急速に進む少子高齢化社会への対応など、持続可能なまちづくりへの基盤づくりを着実に行つてきました。その結果、中心市街地での商業施設の立地などが進んでいます。

き施策を把握し、今後の各種施策の方向性を議論する中で、解決すべき課題や問題も浮き彫りとなりました。今後、様々な施策を推進し課題などを解決するためには行政と町民が一體となつて協働することが必要であり、特に町民のいろいろな活動への自主的、積極的な参加及び考え方、助け合いが重要であり、施策の推進にあたっては先ずできることから実現して頂き、将来に向かって不可能と思われることでも可能に変えていく関係者の努力や情熱が必要になります。

き施策を把握し、今後の各種施策の方向性を議論する中で、解決すべき課題や問題も浮き彫りとなりました。今後、様々な施策を推進し課題などを解決するためには行政と町民が一體となつて協働することが必要であり、特に町民のいろいろな活動への自主的、積極的な参加及び考え方、助け合いが重要であり、施策の推進にあたっては先ずできることから実現して頂き、将来に向かって不可能と思われることでも可能に変えていく関係者の努力や情熱が必要になります。



今後は、これまでの取り組みの成果を踏まえ、地域間格差のない優れた都市基盤をはじめ、町の歴史的な文化遺産、景観や恵まれた自然環境など、まち独自の特性や強みを最大限に活かしながら、行政サービスの質を高め、町民満足度の向上に努めていきます。そして、生活機能の整った、歩いた暮らせる成熟した「まち」、子どもから高齢者まで、すべての人たちがいきしきと安心して暮らせる「コンパクトシティ 酒々井」を目指した取り組みを推進していきます。

(平成23年7月18日付第2767号)
酒々井町長 小坂 泰久

世界自然遺産推薦地

初めに

小笠原村は、本土から約1,000km離れた亜熱帯の島です。交通手段は1週間に1回定期船である「おがさわら丸」が竹芝から出港しています。到着までの時間は約25時間かかり、船旅としても楽しめます。

人口約2,500人、大小30余の島々から成り立っている小笠原村は、島の誕生から気温の年較差が少なく、島の誕生から一度も大陸とつながったことがない海洋島です。世界でも有数の透明度を誇る海に囲まれ、固有の動植物が数多く生息する自然の宝庫です。

主な産業は、観光業や漁業、農業などで成り立っています。観光業でも、海や山、戦跡ガイドなど様々なサービスがあり、自分にあつたガイドを選ぶとより楽しめます。

歴史

12月～5月にかけてザトウクジラやマッコウクジラを見ることができ、ホエールウォッチングや、イルカと一緒に泳げるドルフィンスイムが人気です。

海だけではなく、山にも小笠原にしか生息していない植物があり、季節ごとにも違つ花が咲くので見てみたい花を調べてから來るのも楽しいです。

小笠原諸島は1593（文禄2）年、信州深志城主 小笠原長時の曾孫、小笠原貞頼によって発見されたと伝えられています。人が最初に定住したのは江戸時代後期の1830（文政13）年、歐米人とハワイの先住民でした。その後、江戸幕府や明治政府の調査、開拓により1876（明治9）年には、国際的に日本領土として認められました。



東京都 小笠原村 おがさわらむら

▲新東京百景にも選ばれた、沈水カルスト地形の「南島」[写真提供:小笠原村]



年、欧米系の島民に限り帰島を許されました。他の大勢の島民は故郷への帰島は許されず、慣れない土地での苦しい生活を強じられることになります。

昭和43年6月、23年間と長い時を経て、小笠原諸島は日本に返還され、島民の帰島がようやくかなつとなりました。

昭和54年4月には村政が確立し、自然と共生する村を目指して、あたりじい村づくりが進められています。

太平洋戦争時、国内（現在の）最初の地上戦となつた硫黄島では、壮絶な戦いの末、日本軍が玉砕し、日米両軍合わせて2万余名もの尊い命が失われました。小笠原諸島返還後も、火山活動などによる自然条件が厳しいとの理由により、硫黄島への帰島は実現しません。現在は、自衛隊基地及びその関係者だけが在島しています。

大正後期には、亜熱帯気候を生かした果樹や冬野菜の栽培が盛んになり、漁業ではカツオ、マグロ漁に加え、捕鯨、サンゴ漁などを中心に栄え、人口も7千人余を数えるなど小笠原の最盛期を迎えました。

豊かで平和な島「小笠原」は、太平洋戦争により大きな転機を迎えることになります。昭和19年、戦局の悪化により、軍属等として残された825人を除く全島民6,886人が本土へ強制疎開させられました。

敗戦により、小笠原は米軍の占領下に置かれることになります。昭和21

くされてしましました。

戦場と化した硫黄島は日本軍21,900名、米軍6,821名島民の軍属82名が戦死しました。今現在も硫黄島には多くの遺骨が眠っています。

いち早く遺骨を本土に戻すためにも小笠原村では、厚生労働省が年4回実施している、遺骨収集事業に参加しています。米軍の資料や様々な証言を頼りに作業を行っていますが、未だ半分も収集できていないのが現実です。

今後も国や関係機関と協力し、1日も早い遺骨の帰還に向けて努力しようと呼びました。硫黄島旧島に広まつてしましました。硫黄島旧島で「じおひじま」という読み方が一般に広まつてしまつた。硫黄島旧島を「じおひじま」から「じおひじま」に変更することができました。今後硫黄島を「じおひじま」と呼んでいただきますよとの願ひでした。

てじきまわ。

映画「硫黄島からの手紙」が反響を呼び多くの方に硫黄島の事を知つていただけました。

硫黄島は戦前から「じおひじま」と呼ばれていましたが、さまざま経緯で「じおひじま」という読み方が一般に広まつてしまつた。硫黄島旧島を「じおひじま」から「じおひじま」に変更することができました。今後硫黄島を「じおひじま」と呼んでいただきますよとの願ひでした。

特産品

小笠原の特産品は「ラム酒」と「パッションリキュー」です。

「ラム酒」は1830年、小笠原に初めて定住した欧米系5名とハワイの先住民約20名の中の一人、ナニコル・セーボレーが、当時、太平洋に進出していた米国などの捕鯨船との間で、サトウキビから蒸留したラム酒の取引を行つていました。彼の出身地、米国マサチューセッツ州にもラム酒の蒸留所があつたと言われています。小笠原諸島が日本領土となつてからは、開拓移



▶硫黄島 摺鉢山

で平和だった硫黄島は、本土防衛の最前線となり、島民は強制疎開を余儀なくされました。

▲小笠原特産品 ラム酒



住民がサトウキビから砂糖を製造し、主要な農作物として発展しました。その副産物としてさとうきびを原料とするラム酒が作られるようになりました。

このような国内でも特異な歴史を背景に、小笠原の地酒「ラム酒」が誕生し、現在に引き継がれています。

「パッションリキュール」は、このラム酒に小笠原特産のパッションフルーツの果汁を加えた、ソフトタイプの爽やかな地酒です。

自然遺産への取り組み

平成22年1月26日に、小笠原諸島

小笠原村では、自然遺産登録へ向

の世界自然遺産登録への推薦書が日本政府から国連教育科学文化機関（ユネスコ）に提出されました。平成22年7月には世界遺産委員会の諮問機関である、国際自然保護連合（IUCN）専門家を迎えて、評価を受け、世界的価値観を認められれば、平成23年7月の世界遺産国際会議で登録の可否が決定されます。

外来種の駆除

外来種とは、人為的、または、輸入木材などに混ざり、持ち込まれた動植物のことです。動物ではノヤギやグリーンアノールなど、植物ではアカギなどが代表に上がります。これらは、貴重な植物や小笠原にしか生息していない虫などを食べてしまい、繁殖力が強く、固有種が絶滅の危機にさらされています。

世界自然遺産に登録されるために「生物多様性」の4つの基準のうち、1つ以上に合致する必要で、小笠原は、「地形・地質」「生態系」「生物多様性」の3つに合致するものと考えられています。



けたロゴマークを作成し、父島・母島の船客待合所や村役場に掲げられている横断幕、村営バスや官公庁などの車等に使用しアピール活動を行っています。

このロゴマークには、小笠原諸島に生命をもたらし

た海・風・鳥などをパックに、小笠原のさまざまな固有種や希少種が描かれています。

カギの伐採など様々な対策を行っています。元々は、食用や木炭のために持ち込まれたものですが、時代が変わり使用されなくなり、悪者になってしましました。

複合施設「太陽の郷」

「太陽の郷」は、この春に父島に完成した診療所と有料老人ホームが一つになった、複合施設です。老人ホーム



►「太陽の郷」

は村内で初めてで、唯一の高齢者介護入所施設です。

名前である「太陽の郷」は小笠原村民の方の投票で決定しました。長い間親しまれる良い名前がつきました。

42年前に日本に返還された島に戻り、島の復興を支えた世代が老境を迎えています。

今までは、本土にいる家族と同居したり、内地の介護施設などに入所したりと、島から離れなければなりませんでした。「故郷の島で最期まで暮りたい」という願いを叶えるためいか大いに期待してくる施設です。

母島

母島は、父島から南に約50km、船で2時間の場所にあります。本土からの直接の船便がないため、父島で「ははじま丸」に乗り替える必要があります。

人口約450人の島で、みな知り合いであり島民同士の結びつきはとても強いものがあります。

母島には、警察駐在所や、簡易郵便局、商店などあり一つの町と変わりありません。高校が無いため、高校進学の際は、故郷である島を離れなけれ

ばなりません。父島の小笠原高校には、母島出身者専用の宿舎も用意されています。

特産品でも紹介したラム酒とパッショナリキューは母島に製造工場があります。

乳房山は標高463m父島母島で最も高い山です。遊歩道で一周回るコースでは4時間かかりますが、その多くの固有種の植物や、母島にしか生息していない特別天然記念物の

「ハハジマメグロ」などの生物を見ることができます。登頂される際は、母島観光協会でキット（300円）を購入して頂くと登頂記念証を発行してもらいます。名前や登頂日も明記されるので、自分だけの記念品になります。

夕日を見るなり、新夕日ヶ丘がオススメです。名前にもなっている通り、時が経つているのを忘れてしまつ程の絶景を見られることができます。父島のウエザーステーションとはまた一味違つた夕日を楽しんだください。

終わりに

小笠原村では現在早期の航空路の開設や、平成24年7月に発表される世界自然遺産登録に向けて準備を進めて



▶母島 乳房山より



◀ハハジマメグロ



▶母島 新夕日ヶ丘より

小笠原村 総務課・広報係
(平成23年1月10日付第2744号)

航空路が開設されれば、物資の運搬や、本土との移動時間を短縮することができ、多くの方が小笠原に来ていただけるだけでなく、島民の方も、本土の病院に通院するなど大きなメリットがあります。航空路の開設には候補地の決定など課題もあり、実現までには、まだ時間を要しますが、安心して暮らせる村づくりのために一歩一歩確実に進めていく必要があります。

います。

航空路が開設されれば、物資の運搬や、本土との移動時間を短縮するこ

とができ、多くの方が小笠原に来ていただけるだけでなく、島民の方も、本

土の病院に通院するなど大きなメリッ

トがあります。航空路の開設には候補地の決定など課題もあり、実現までには、まだ時間を要しますが、安心して暮らせる村づくりのために一歩一歩確実に進めていく必要があります。

ゼロ・ウェイストへの第一歩

—住民協働と半減袋でごみ半減へ—

海と山に囲まれた 自然豊かな町

葉山町は、神奈川県の南東部に位置し、人口約3万3千人が暮らしています。相模湾の向こうに富士山を臨む風光明媚な海岸沿いには、明治時代に御用邸が造営され、その後「別荘」として発展したことから、現在も「保養」「リゾート」の町として知られています。一方で、町の山側には田畠が広がり、「にほんの里百選」にも選ばれた上山口では心癒される棚田の風景を見ることができます。

東京から50キロ圏内に位置した自然豊かな住宅地としての人気も高く、人口は微増傾向にあります。

ゼロ・ウェイストへの転換

葉山町のごみ処理は、ステーション収集を基本とし、ごみ量は1人1日あたり約1キロ（事業系含む）と全国平均並で、その約7割を焼却しています。ごみの分別は、容器包装グラスチックなど14分別を実施していますが、資源化率は約24%（平成20年度）にとどまっています。ごみ処理費は、町民一人あたり2万5千円／年と高額になっています。ごみの減量と併せて大きな課題となっています。

また、全国的なごみ処理広域化の動きを受けて、近隣の2市との広域化を、約10年間にわたり協議を行ってきましたが、大規模な施設建設への危惧や、資源の保全を重視したごみ処理の



神奈川県 葉山町 はやまち

▲湘南国際村からのながめ

あり方を求める町民からの声がかつてなじほじ囁いたことから、平成20年1月に初当選した私は公約もありに同年5月に広域協議会を脱退し、資源化・減量化に力点を置いた「ゼロ・ウェイスト」へと方針を転換しました。

ゼロ・ウェイストとは

してアメリカやユーロージーランドを始めとする海外で広がっています。

日本でも、徳島県上勝町、福岡県大木町、熊本県水俣市が「ゼロ・ウェイスト宣言」を行い、先進的な取り組みが始まっています。

第一期目標は「ごみ半減」

してアメリカやユーロージーランドを始めとする海外で広がっています。

考え方ですが、日本語に訳すと「浪費・無駄・ごみをなくす」という意味になります。私たちは毎日たぐわこの物にかこまれて暮りじてこますが、ちょっと考へただけでも使い捨ての物が多いことに気づきまよ。ついにはそれなりほどんどを、多額の税金を使って収集・焼却するところが常態化しています。



では、この「ゼロ・ウェイスト」を葉山はどう実現化していくのかと云うのですが、まずは先進自治体になります。私たちは毎日たぐわこの物に

この「ごみ」、「ゼロ・ウェイスト」というイメージにして考え方を具体的にしたいとか、当初「わかりじ」、「ごみ」の反応が見られた町民の理解を得る」といふやりました。

「ごみ」を 「ごみ」でなくすために

たとえば、「ごみ」を「ごみ」として捉えてくるまでは、発想が生まれません。そこで、中身を把握するため、「ごみ」の組成分析を行いました。

すると、燃やすごみについては、約60%を占めた生ごみに次いで、分別しているリサイクルペーパー類が11%も混入していました（重量比）。他にも、古着・古布や植木剪定枝

りつて段階的な目標を設定することになりました。その第一期目標として平成25年度末までに「ごみ半減」を掲げました。「半減」としたのには、現在2系列ある焼却炉の使用が半分ですむ可能性がでいておりとや、「半分」という挑戦的な目標を掲げることが大きなインパクトとなり、推進の原動力となるとの意図があります。

別収集の様式がわからなくて、が挙げられます。現在は「可燃系ごみの日」に、燃やすごみに加えて資源化する古紙類、白トレイを同じごみステーションに出します。（写真参照）分別の項目として分かれていますが、同じネットボックスの中に出すわけでもなく、住民の方からすれば何が資源で何がごみなのかが非常に曖昧になってしまします。不燃系ごみについても同様で、「燃やせないごみ（生ごみ）」「おも」「プラスチックごみ」「乾電池」をそれぞれ袋に分けて出すのがルールなのです。が、袋に入ってしまうば中に少々異物が入っていてもわかりませんし、同じネットボックスの中に入るとなれば、分別は曖昧になってしまいます。

これらのことから、分別ルールの明確化による徹底、新たな資源化品田の追加、そして生ごみの資源化によつ

と「資源」とが明確に意識されるよう、

出す曜日と場所を分けるようにしました。

具体的には、燃やすごみ・プラスチックごみ、容器包装プラスチックは、

各戸が家の前に出す戸別収集によって

責任の所在を明確にし、それ以外の資

源物については、新たに設置する資源

ステーションでコンテナに分け入れる

という方式です。さらに資源物は、袋

から出して、アルミ缶はアルミ缶のコ

ンテナに入れるようにすることで、資

源ステーションに行けば何を分別しな

ければならないかが明確になることを

考えました。また、植木剪定枝や古布

などの新たな資源化品目を追加し、25

種類の分別によってリサイクルをより

進める方式の検討を行いました。



▲地域内のごみステーションの様子

て、「半減」への鍵であることが明確になつてきました。

また、分別の不徹底は、ごみステーション周りでの不规则の原因にもなつておひり、近隣の方が掃除をされていふことわざなくありません。間違つた出し方をされた本人には正確な出しが伝わらないまま一部の人たちに負担が生じていることからも、この問題の解決が望まれていました。

分別収集方式を一新！

そこで、収集方式を抜本的に改編することにしました。まず、「ごみ」

入する」としました。

モデル地区となつた牛ヶ谷戸地区は、約360世帯を有し、田舎から防犯パトロールなどの町内会活動が盛んな地区です。国道沿いに多くのごみステーションが設置されている地区でもあり、不法投棄などのごみ問題に頭を抱えていたことから、この新方式に関心を示し、モデル地区に応募されました。応募を決められたままで、町内会ではアンケートの実施や、地区内のご

▲資源ステーションで分別



▶牛ヶ谷戸地区での説明会

まずはモデル地区で ～牛ヶ谷戸町内会～

しかし、「分別収集」といつて、「一軒一軒集めることが可能なのか」「つちは車を入れないところにあるが取りに来てくれるのか」という疑問や不安の声があがりました。そこで、一部の

地区をモデル地区として、実験的に導



◀ 序内に展示された
生ごみ処理容器



ターネーしました。初めは、分別間違いなどが見受けられましたが、町内会の役員の方々が資源ステーションをまわられ、間違いを正すなど、きれいな資源ステーション環境の維持に努めてくださいましたこともあり、2ヶ月後に実施した意見交換会では概ね好評な反応を得ることができました。また、町で作成した50音順で分別方法を詳細に記した分別早見表と、収集日カレンダーは好評でした。

資源物の量は増加し、一部古紙や金属類については回収量に応じた奨励金を町内会に支払制度を開始したこと、町内会は活動資金を得ることができました。燃やすごみが減量した分、不足分は購入していただいくことで、費用負担の公平性と減量の意識づけを図ることを現在検討しています。

この「半減袋」で 意識づけを

この新方式は、今後全町での実施を目指して準備を進めています。併せて、導入を検討しているのが燃やすごみの指定袋制です。すでに指定袋の有料化を実施している自治体は

全国に数多く存在しますが、葉山町ではこの指定袋の大きさを少し工夫することと、減量の意識付けを図ることを考えました。

それは、第一期目標である「ごみ半減」を、目に見える形にするところです。半減の目標値は、具体的には「1人1日329グラム」という目標になるのですが、ごみ量を何グラムと言わしてもピンと来ない人が多いと思ひます。そこで、重量を袋の容積に換算し、それをさらに収集1回あたりのごみ袋の大きさに表しました（＝半減袋）。つまり、収集1回に出すごみがこの袋に収まれば、その世帯は目標値をクリアしたことになるのです（収集は週2回）。これを、収集1回につき1枚分は無料で配布し、不足分は購入していただいくことで、費用負担の公平性と減量の意識づけを図ることを現在検討しています。

平成21年度に100世帯を対象と

減袋）。つまり、収集1回に出すごみがこの袋に収まれば、その世帯は目標値をクリアしたことになるのです（収集は週2回）。これを、収集1回につき1枚分は無料で配布し、不足分は購入していただいくことで、費用負担の公平性と減量の意識づけを図ることを現在検討しています。

したモーター実験を実施したといふ、初めての説明会では「袋が小さすぎて入らないな」と思ひ」という反応が多かったのですが、実際に使つてみるとなかで、「袋に収めよう」「分別を見直そう」という意識が働き、結果的には9割以上の世帯が2ヶ月間袋に収めるに成功しました。また、実施後のアンケートでは、7割が「分別に対する理解が深まった」と回答し、意識に変化が生じたことがわかりました。

持続可能な社会に向けて

このように、葉山町ではごみ半減を目標としていますが、もうなる減量に向けてそもそもごみにならない商品がもつと増えるような社会をつくっています。ゼロ・ウエイストを進める他自治体との連携も図っています。

3万人強の小さな自治体の取り組みですが、このこった動きが少しでも持続可能な社会にながっていきと願い、引き続き取り組んでいきたいと思います。

葉山町長 森 英一

▶シンポジウムなどで取り組みを紹介



(平成23年3月28日付第2754号)

「おひが田のPR下手」解消への第一歩

はじめに

市川三郷町は、平成17年10月1日に三珠町、市川大門町、六郷町が合併して誕生しました。甲府盆地の南西に位置し、南アルプスを源流とする釜無川と秩父山系を源流とする笛吹川が合流し、富士川となる左岸に位置しています。四季折々の自然が楽しめる四尾連湖や芦川渓谷、ぼたん回廊や桜の名所、花火や和紙、はんこなどの地場産業、大塚人參やとうもろこしの「甘々娘」に代表される農産物、市川の百祭りなど、町には誇れる資源が多くあります。

PR不足の指摘

そんな誇れる資源を幾つも持ちながり、「町内外に向けてPRすることが不足している。苦手としている。」

毎年8月7日(はなびのひ)に開催される神明の花火大会。

2万発の花火が上がります。

恒例の「メッセージ花火」では、今年も3人がプロポーズ。

成功率100%を誇っています。



山梨県 市川三郷町 いちかわみさとちょう

と町民の目には映つてゐたようであ。町民からは、「町をPRするような何かが欲しい。例えばPRシールを作成し、不特定多数の人に町の名前を売り込んではどうだか?」との提案も頂きました。

町ではこの提案を元に、幾度となく企画調整会議を行い、動く広告塔として公用車などに貼るPRシール、またなどなたこでも気軽に貼つていただけるプロクラのよひなシールを作成することに決定しました。



▲デザイン作成中の市川高校美術部



▲山梨県立市川高等学校

高校生の思い描く市川三郷

そこで問題になつたのが、「町のPRを目的とするシールなので、町を元気におけるよひな明るく楽しげなデザインをどのように表現するか?」ということでした。町民を対象に公募で決定しようと、いろいろ案もありましたが、「これからの方に柔軟な考え方で「デザイントーク」としての関係を構築した」という一つの目的もありました。

高校生の思い描く市川三郷

町の担当(広報部)と市川高等学校などで数回の打ち合わせを行い、美術部において「デザインの作成に対応していただき」となりました。部員の中には町外の生徒もあり、合併したばかりの本町のことを知らない状況で

依頼した理由には、今まで以上に「地域のパートナー」としての関係を構築したい」といひ一つの目的もありました。

町の担当(広報部)と市川高等学校とで数回の打ち合わせを行い、美術部において「デザインの作成に対応していただき」となりました。部員の中には町外の生徒もあり、合併したばかりの本町のことを知らない状況で

密で良好な関係にある県立市川高等学校に作成を依頼しました。自由な発想で高校生たちの思い描く「市川三郷」をイメージしてもらつたため、あえて条件や要望は何も付しませんでした。更に加えるなり、市川高等学校に作成を

したが、町の広報紙などから市川三郷の知識や情報も参考にしてくれたようです。

PRキャラクター 市川三郷レンジャーの誕生



▲市川三郷レンジャー誕生

PRキャラクターを 最大限生かすために

そして誕生したのが、町のPRキャラクター「市川三郷レンジャー」でした。部員達によると「園児や小中高生の若者層にウケルのはやっぱりヒーローもの。それにわりに流行りのゆるキャラ風味を加味しました」とのこと。このPRキャラクター「市川三郷レンジャー」は3人で構成されていますが、それぞれの顔の正面には「大塚人参」「花火」「はんこ」がデザインされており、それは全て合併前旧三町の特産品です。ひと目で町の特産品がわかるこのキャラクターは、市川三郷をなんとかPRしようとする若い感性を感じられ、職員にも好評を得ました。作成を依頼したこの時期は、高校の定期試験などがあり進歩には思いのほか時間がかかりましたが、結果的には、その間のやり取りで高校との信頼関係も構築でき、地域的な連携も深めることができたなど、予想以上に大きな成果を得ることができました。

このよひな経過を経てPRキャラクターは作成出来たわけですが、このPRキャラクターを一時の流行で終わらせないためには、上手に活用しなければなりません。私達はこのキャラクターを大々的に紹介する方法を考えました。まずは広報紙の表紙で華々しく登場させ、「PRキャラクターが誕生したこと」と、「誕生までの経過」を報告しました。広報紙をめぐらなくては、町内に在り、町とは緊

ども達を中心になるべく多くの方に考えていただきたいと、管内小中学校にも呼掛けをして協力していただいた結果、実際に400通もの応募がありました。

公募による町民からの注目を集め

始めた矢先でしたので、この名前の発



与えたようでした。賛否も含め多くの感想をお寄せ頂き、まことに好スタートを切れました。

次に、このギャラクターを少しでも町民に親しみを持ってもらいためには、「どんな展開を行えば良いか」を

住民の意図は何も反映されていないこと、「この時点では三人の総称が市川」と、三郷レジンジャーと決まっていただけで

ひとりの名前を町民対象に募集をかけ
る」としました。しかし、漠然と公
募しただけではアピールに乏しいため
子ども達に馴染みの深いキャラクター
の「ナザイン」であったことを活かし、子



▲市川三郷レンジャー、PRキャラ名の発表会

ども達を中心にならべ／＼多くの方に考えていただこうと、管内小中学校にも掛けをして協力していただいた結果実に400通もの応募がありました。公募により町民からの注目を集め始めた矢先でしたので、この名前の発表会も、やはり大々的に行つ必要があると考えました。その当時、PRキャラクターはまだ多くは出回っておらず山梨県内では自治体そのもののPRキャラクターはほとんどいませんでした。また、その生まれた経緯も市川したため、マスコミの多くから興味を示していました。この発表会も、していただきました。この発表会も、町内で行なわれるイベントと抱き合わ

した。また、その生まれた経緯も市川高校生とコラボという独自のものだつたため、マスコミの多くから興味を示していただきました。この発表会も、町内で行なわれるイベントと抱き合わ

市川三郷レンジジャーの認知度を高めた方法として、マスコミの力は大きくな後押しになりました。市川三郷町では普段からの広聴広報係を中心に、地元の新聞社やテレビ局に積極的に情報提供をするなど、マスコミとは密な連携をとることを心掛けています。やはり情報発信・露出回数といつては、自媒體のHPや広報紙などよりもマスコミに一日の長があり、新聞、テレビ、ラジオの媒体を利用しない手はありません。記者やディレクターと一緒にパイプ

また、市川三郷レンジャーを使つたPR活動の、大きな転機になつた出来事があります。それは、町内自主ぐるープボランティアによる着ぐるみの作成でした。

市川三郷レンジャーの 新たな展開

マスコミとの連携

せたため、新聞のカラー記事、テレビニュースなどでも大きく取り上げていただき、町内のみならず県内全域に発信することができました。

を築いておいくとにむづ、信頼の上に
相互の情報提供が成立ち、このよしなな
イベントの報道なども積極的に取り組
んでいただけるのだと実感しています

参加者達とふれあいを深める活動を始めたのです。しかしその着ぐるみは、自主グループゆえにあまり経費をかけられなかつたのか、少し手作り感覚の出来栄えであつたため、町としてはイラストとのギャップを心配しましたが、そんな危惧は最初だけでした。キャラクターが立体となり、一人の生き物として活動することで、そのキャラクターに親しみがわくのか、多くの



▲PRキャラの存在を知らせる地元紙

の認知度を深めたことは間違ひありません。

せん。



▲保育園を訪問する自主グループによるボランティア活動



▲市川三郷レンジャーグッズ

残念ながら、この自主グループの着ぐるみ活動は、老朽化や時間の制約があり、その後にストップしてしまいましたが、町から発信されたキャラクターを活用して、住民サイドがそれを地域おこしに利用するところの形は、地域に市川三郷レンジャーが根付いてきた証でした。この自主グループの皆さんのがいや着ぐるみの有用性を感じていた町では、翌年度、市町村合併体制整備費補助金を利用して140万円をかけて三体の着ぐるみを製作しました。

（平成22年10月25日付第2737号）

活動を実施している自治体が数知れず存在することも承知していますので、私達も着ぐるみでのPR活動はむちろん、まだまだ新たな展開を計画中です。また最近は、山梨県内の自治体などの「ゆるキャラ」と共に協力し合って、PR活動を行える機会が増えてきましたので、「PR下手を解消すべく頑張つていただきたい」とも思っています。

（総務課広聴広報係）



▲市川三郷レンジャー新着ぐるみを制作

現在、着ぐるみを使用しての活動は主にイベントなどに出演し、会場で参加者と触れ合い、町のPRを行なうことです。参加者は実際に市川三郷レンジャーと触れ合ひ、逢つたびに親しみが増してくるようです。参加者の笑顔や言動から、愛情に近い感情も生まれてきて感じるよつと感じています。更に、絶えず对外との接点を持つことが容易となるめ、市川三郷町の保育所などを訪問して下さりました。この地道な活動が、町内の子ども達へ

むりなむPR活動展開へ



▶子どもたちに大人気市川三郷レンジャー

全国的には、私達の先を進むPRの1人

に育ちつつあります。